季節の花シリーズ

（Ｎｏ．７６）



【ゲンノショウコ】

フウロソウ科フウロソウ属

＜花期＞７～１０月

＜特徴＞草丈は 30~50cm 程の長さで枝分かれをして上部に向かって立とうとする。枝先および葉の脇より長い花軸を出して花を 2~3 個付ける。花は 5 弁で赤い筋がある。色は白から赤色と一様ではなく、白花は東日本で、赤花は西日本で多く見られる。花期の茎葉を全部採取して乾燥させたものを生薬として使用する。若葉はキンポウゲ類トリカブトなどの有毒植物に非常によく似ているので注意が必要である。

＜薬効＞薬効を示す主成分はタンニンで、収れん性の下痢を止める作用、健胃整腸作用、利尿作用がある。古くから下痢止めの妙薬とされており、その名前も「現に良く効く証拠」に由来する。

＜花言葉＞心の強さ、憂いを忘れて 等

【ツリガネニンジン】

キキョウ科ツリガネニンジン属

＜花期＞８～１０月

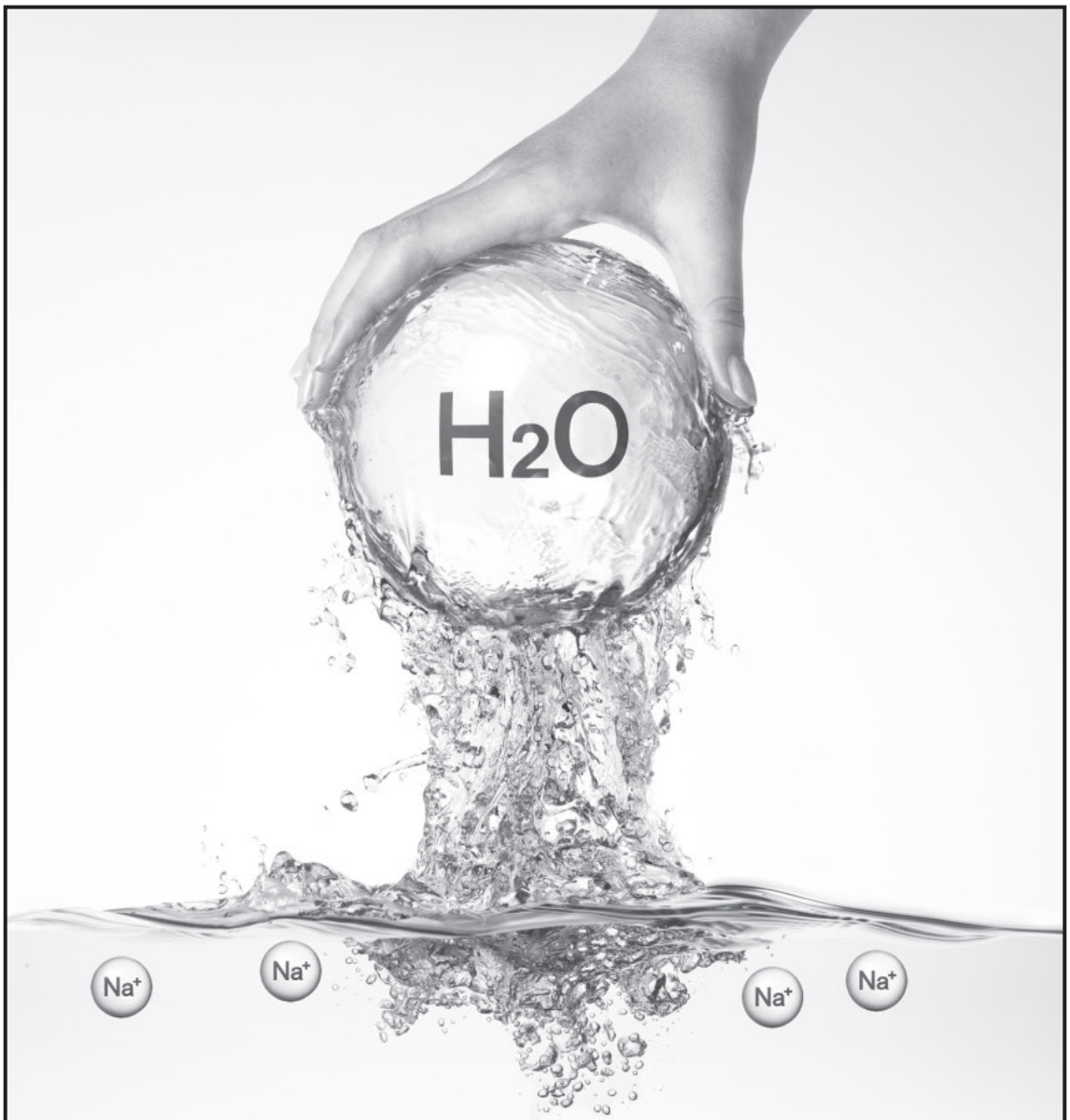
＜特徴＞花茎の高さは 40~100cm になり、葉は茎に 3~4 枚輪生し、稀に互生または対生する。花は枝先に円錐花序を多数つける。色は青紫、形は鐘形で先が 5 浅裂で下向きになっている。夏の終わりから秋にかけて根を掘り、ひげ根・外皮のコルク層をはいで乾燥させたものを生薬で沙参(シャジン)という。

＜薬効＞有効成分としてサポニン、イヌリンなどを含み、持続性のある去痰作用がある。そのため鎮咳去痰の目的で慢性の咳止め、痰切り、喉の痛みを止めるのに効き目がある。人参や竹節人参と形状は似ているが、サポニン類を含まないため強壮薬としては用いられない

＜花言葉＞誠実、詩的な愛 等



（撮影）田村隆幸
（文）大井睦美



V2-受容体拮抗剤　劇薬、処方箋医薬品*　薬価基準収載

Samsca® (tolvaptan)

サムスカ®錠 7.5mg 15mg

Samsca® tablets　トルバプタン錠

＊注意ー医師等の処方箋により使用すること

◇効能･効果、用法･用量、警告･禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

製造販売元
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

資料請求先
大塚製薬株式会社　医薬情報センター
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4　品川グランドセントラルタワー

〈'14.11作成〉

巻頭言

新会長就任にあたり



富山県病院薬剤師会会長
北澤　英徳

この度の第 67 回通常総会にて会長に選出いただきました。私は平成元年に福井医科大学（現福井大学）附属病院から富山医科薬科大学（現富山大学）附属病院に着任し、2 年半の厚生労働省出向の後、11 年前に当院に着任しました。これまで様々な環境の中、多くの皆様方からのご支援ご協力に支えられ今日に至っています。微力ではありますが富山県病院薬剤師会の発展に寄与できればと思っています。

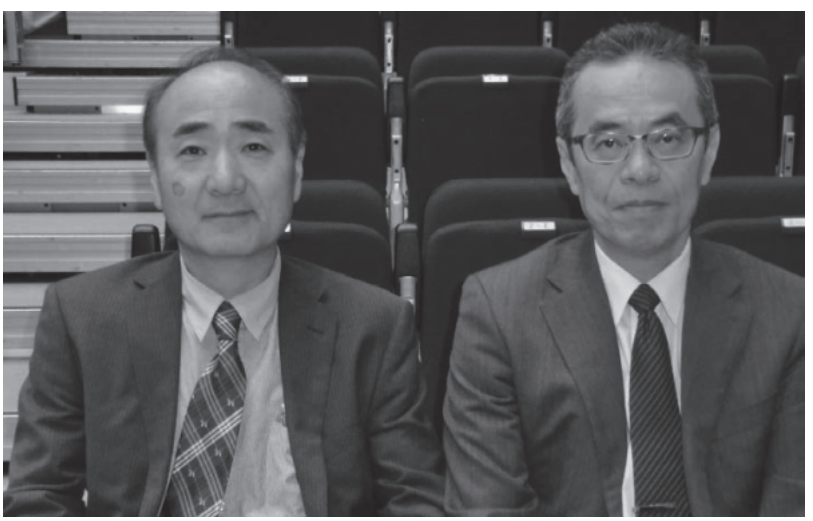
最近の医療を取り巻く環境は急激に変わっています。私が当院着任後（11 年前）に富山県病薬会報に投稿した原稿を読み返してみましたが、当時は後発医薬品の使用促進目的で、院外処方せんの「備考」欄中に「後発医薬品への変更可」のチェック欄が新設されたとの記載がありました。ところが今はどうでしょう、昨年 6 月に閣議決定された「経済財政と改革の基本方針 2015」では、後発医薬品に係る数量シェア目標値を 2018 年（平成 30 年）度から 2020 年（平成 32 年）度末までの早い時期に 80%以上とする使用促進が盛り込まれましたが、2016 年度診療報酬改定では、DPC 病院の後発医薬品係数の基準値が 60%以上から 70%以上に上がったものの、既に多くの病院が 70%を超えていたため、相対評価である係数最大値は下がってしまいました(2014 年 4 月及び 2016 年 5 月の係数最大値は、それぞれ 0.01544 及び 0.01058)。既に DPC 病院では 70%超が当たり前になっているようで、現在の目標値は 2018 年の診療報酬改定に向け 85%との声も聞かれています。一方で、日進月歩で進む近年の医療環境の中、チーム医療においても専門・認定薬剤師の養成も急務であると感じています。「がん患者指導管理料」にみられるように、これからの医療現場では専門・認定薬剤師の評価がますます高まっていくと思われます。

私が平成元年に富山医科薬科大学附属病院薬剤部に着任した当時は、毎週県内の病院薬剤部の有志の先生方が附属病院薬剤部に集まり「血中濃度セミナー」が開催されていました。当該セミナーでは、学術的な面はもちろんのこと、定期的に情報交換会が企画され、病院間の情報交流が盛んに行われ、病院間の横のつながりができていました。最近の話題としては、地域の保険薬局との連携が叫ばれ、4 年前から富山県の主導で「薬薬連携推進会議」が毎年開催されていますが、私個人的には、病院と保険薬局との連携はもちろんのこと、病院間の連携も最近不足気味なのではと感じています。「薬薬連携推進会議」を盛り上げていく上でも、病院間の連携、情報交換など

も推進していく必要があると考えています。このような病院間の連携、情報交換などを推進していくためには、世代意識を超えた交流が大切であると思います。また富山県病薬の次世代を担う若手薬剤師の育成も急務と思います。富山県病薬でも各種委員会により多くの研修会が開催されていますが、講演会が主体の研修会がほとんどです。病院間の垣根を越えた交流ができるような研修会も今後検討していく必要があるのかなとも考えています。

平成 24 年 4 月に「病棟薬剤業務実施加算」が新設されましたが、県内では病院薬剤師の供給不足の状況が続いており、なかなか施設基準を達成できない病院が多い状況と思います。昨年、県内の病院を対象に、「病棟薬剤業務実施加算」を視野に入れた必要薬剤師数のアンケート調査を実施したところ、のべで 130 名を超える薬剤師の増員が必要との結果が得られたようです。医師・看護師不足に加え薬剤師不足も、地域医療にとっては大きな痛手となっており、富山県病院薬剤師会として何らかの対策を講じていく必要があると考えています。2 年前から富山県と県病薬との共催で、薬学部 5 年生と再就職者を対象に「病院薬剤師就職説明会」を開催していますが、徐々にではありますがその成果が得られてきているように感じます。今後はさらに長期的な視野に立ち、小・中・高生に対象を広げ、産官学が一体となって、薬剤師志望者の開拓に尽力しなければならないのではないでしょうか。

最後に、富山県病院薬剤師会が今後ますます発展・充実し、会員相互の交流、情報交換などを推進していくために、皆様方の格段のご支援・ご協力をお願いしますとともに、今後の会員の皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申しあげまして新任の挨拶とさせていただきます。



↑新旧会長　新会長（北澤氏）と前会長（高畑氏）

第 67 回通常総会

富山県病院薬剤師会第 67 回通常総会

広報委員会

富山県病院薬剤師会（以下、富山県病薬）（高畑英信会長・砺波総合病院）は平成 28 年 5 月 14 日、第 67 回通常総会をパレブラン高志会館において開催した。富山県病薬の会員数 390 名のうち、出席者 72 名、委任状 182 名を得て、第 67 回通常総会は成立した。梅津博之氏（あさひ総合病院）の司会で開会され、先ず高畑会長が挨拶を行った。会長の挨拶の要旨は以下の通り。「この 1 年間を振り返ると、富山県では新幹線を通して多くの人が行き来し年でした。医療の分野では 2025 年問題、病院・施設から在宅・地域へ、病床の機能分化に向け、7 対 1 の看護要件、重症度が引き上げられ、高度急性期、急性期、回復期、慢性期病床への移行、そして、地域包括ケア病棟の導入が実施された。

われわれ薬剤師の病棟業務においては、量と質が求められている。特にＤＰＣ制度が導入されてから他病院との比較が容易になり、その情報が公開され患者が医療の質を求める時代になった。一方で医療費のコスト削減で、後発医薬品の数量シェア 70%を目指し、病院薬剤師に後発医薬品の使用促進が課させられ、他病院との比較が始まった。どこの病院も後発医薬品使用に努力された。しかし、本来の業務である病棟業務すなわち、患者と関わる薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務実施加算の業務、退院時服薬指導などは、どの病院も薬剤師不足から満足な成果をあげられていない。現に富山県の医療施設に勤務する薬剤師数は 10 年前に比べ 7 名減少している。人口 10 万人あたりの薬剤師数は全国で 32 位である。医療の安全・安心を確保するには薬剤師が果たす役割はたいへん大きく、国民からも求められている使命である。その大前提となる薬剤師を確保するために、昨年度は富山県の協力を得て、病院薬剤師を希望する薬学生、新卒、既卒、復職を希望する薬剤師を対象に病院薬剤師就職説明会を開催し、24 の病院が参加。学生の参加は前年度の倍以上の 33 名だった。くすりの富山を維持し、一人でも多くの薬剤師を確保するため、富山県病院薬剤師会だけでなく、富山県薬剤師会、富山県薬業連合会とも取り組んでいる大きな課題である。さらに病院・施設から在宅・地域へのシステムには病院薬剤師、保険薬局の薬剤師の連携　すなわち薬薬連携は不可欠である。今、かかりつけ薬局が大きな話題になっている。病院で処方された薬を患者さんに理解してもらい、高齢化社会における適切な薬物療法に薬剤師が表舞台にたつ時代が来た。

病院薬剤師の仕事がもっと可視化され、患者、住民、国民にもっと見えることを願っている。また病棟業務の新たな展開、チーム医療での活躍、そして医療安全に貢献する薬剤師を皆にみてもらいたいと願っている。富山県病院薬剤師会は会員の皆さんが活躍できるよう支援していきま

す。最後に、会員の皆さんに活躍の場を提供し資質向上に尽力した役員、会員の活動に敬意を表します」と挨拶を述べた。
来賓として前田彰久氏（富山県厚生部次長）、西尾公秀氏（社団法人富山県薬剤師会会長）が列席、来賓祝辞後、司会者が議長の選任を諮り、山下岳至氏（ＪＣＨＯ高岡ふしき病院）が議長に選出され、議事に入った。三村泰彦・副会長（富山大学附属病院）より平成27年度会務および有生明雄氏（富山赤十字病院）より会計等の報告がなされた。三村副会長より平成28年度事業計画、有生氏より予算案が提示され、執行部の原案通り承認された。また小野敦夫・選挙管理委員長（富山大学附属病院）より、会長及び監事選挙結果について報告がなされ、会長に北澤英徳副会長（済生会高岡病院）を、監事に黒崎俊美氏（山田温泉病院）、高城正利副会長（かみいち総合病院）が推薦され、満場一致で承認された。



新会長の北澤氏の挨拶の要旨は以下の通り。
「この度の第 67 回通常総会にて会長に選出されました済生会高岡病院の北澤です。富山県病薬の歴代会長の中で、また全国的にも、恐らく最も小さな規模の病院に所属する会長ではないかと思います。逆の表現をすれば、中小規模病院からの意見を発信できる立場にあるのかなとも思っています。

私は平成元年に福井県病薬から富山県病薬に移籍しましたが、当時、富山医科薬科大学附属病院薬剤部では、毎週県内の病院薬剤部の有志の先生方が集まり「血中濃度セミナー」が開催されていました。当該セミナーでは、学術的な面はもちろんのこと、定期的に情報交換会が企画され、病院間の情報交流が盛んに行われ、病院間の横のつながりができていました。今回の私の会長推薦も、そのつながりによるものと思っています。最近の話題としては、地域の保険薬局との連携が叫ばれ、4 年前から富山県の主導で「薬薬連携推進会議」が毎年開催されていますが、私個人的には、病院と保険薬局との連携はもちろんのこと、病院間の連携も最近不足気味なのではと感じています。「薬薬連携推進会議」を盛り上げていく上でも、病院間の連携、情報交換なども推進していく必要があると考えています。このような病院間の連携、情報交換などを推進していくためには、世代意識を超えた交流が大切であると思います。また富山県病薬の次世代を担う若手薬剤師の育成も急務と思います。富山県病薬でも各種委員会により多くの研修会が開催されていますが、講演会が主体の研修会がほとんどです。病院間の垣根を越えた交流ができるような研修会も今後検討していく必要があるのかなとも考えています。

一方で、平成 24 年 4 月に「病棟薬剤業務実施加算」が新設されましたが、県内では病院薬剤師の供給不足の状況が続いており、なかなか施設基準を達成できない病院が多い状況と思います。昨年、県内の病院を対象に、「病棟薬剤業務実施加算」を視野に入れた必要薬剤師数のアンケート調査を実施したところ、のべで 130 名を超える薬剤師の増員が必要との結果が得られたようです。医師・看護師不足に加え薬剤師不足も、地域医療にとっては大きな痛手となっており、富山県病院薬剤師会として何らかの対策を講じていく必要があると考えています。

最後に、富山県病院薬剤師会が今後ますます発展・充実し、会員相互の交流、情報交換などを

推進していくために、皆様方の格段のご支援・ご協力をお願いしますとともに、今後の会員の皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申しあげまして新任の挨拶とさせていただきます。」と会長就任の挨拶がなされた。

小出久仁子・研修委員長（県立中央病院）から平成 27 年度生涯研修認定薬剤師 83 名の報告後、生涯研修 10 年連続 5 名、15 年連続 1 名への認定証授与が行われた。また、富山県病院薬剤師会学術会員表彰が行われ、舘美幸氏（砺波総合病院）が表彰され、制定後、第 2 号の表彰者となった。続いて、20 年勤続会員 14 名、30 年勤続会員 5 名の永年会員表彰が行われ、代表して 30 年表彰の串岡　譲氏（不二越病院）が挨拶、次いで新人会員 20 名の紹介が行われた。 最後に高城副会長（かみいち総合病院）が閉会の挨拶を行い、総会は滞りなく終えた。総会終了後、新田淳美氏（富山大学大学院医学薬学研究部（薬学）薬物治療学研究室教授）から北陸高度がんプロチームがん専門薬剤師養成コース（インテンシブ）の募集要項についての説明が行われた。



引続き同会場において、日本病院薬剤師会事務局　加藤将朗氏を招き、講演「日病薬研修制度の概要　会員の点数の集め方と認定の取得方法等」が行われた。同制度の概要、単位の取得、認定取得までの流れ、日本病院薬剤師会ｅ-ラーニングの特徴等について説明を受けた。続いて城西大学薬学部医薬品安全性学教授　金本郁男氏を招き、特別講演「血糖管理は食事から～365 日の低ＧＩ食～」が行われた。特別講演の概要は次の通り。

「血糖管理は食事から」ということで、1.血糖コントロールと食事、2.Glycemic Index(GI)について、3.低 GI 食と食後の運動、4.薬と血糖値、5.野菜ジュースと野菜サラダの違い、6.GI 研究の展望について説明があった。

グルコーススパイクとは、1 日の血糖値の高低の差が大きくても HbA1c 値は高くならないが、健常者とはパターンがまったく異なり、リスクは高い。空腹時血糖値が正常でも食後血糖値が高くなると死亡の危険率は高くなる。高血糖は動脈硬化、糖尿病、認知症、がんにつながる。高血糖を改善するには軽い運動 1 日 30 分以上すること、また食事を改善することがよい。

朝食をとることは大切であり、朝食は体内時計をリセットし、脂肪蓄積モードから脂肪燃焼モードに切り替え、朝食の血糖上昇が満腹感の持続や昼食の摂取量、血糖上昇に影響し、1



日の消費エネルギーが増加する。ダイエットで糖質制限食が流行っているが、糖質制限食の安全性は未知である。糖質制限食にすることは、タンパク質を過剰摂取することにより腎臓への負担を高める、塩分摂取量増大、食物繊維不足、ビタミン・ミネラルの不足、飽和脂肪酸過多による動脈硬化、脂質異常、糖質制限の割

合が高まるほど、すべての死因による死亡率が高い(26 年間に亘る検討)。

普通食摂取後と低 GI 食摂取後との 24 時間平均血糖曲線を比較すると、低 GI 食の方が血糖推移は低くなっている。GI 値の低い食品は玄米、日本そば、さつまいも、トマトジュース、牛乳、プリン等である。高 GI 値のものは組み合わせる食品により GI 値が抑えられる。

運動や食物繊維は 2 型糖尿病との関連が高い可能性があると考えられており、低 GI 食品は可能性ありとなっている。低 GI 食をより有効に活かすためには、誰が(耐糖能異常の有無)、どのような低 GI 食を(作用機序)、どのタイミングで(摂取する順序)、どれくらいの量を(摂取量)、どのようにして(形態)摂取するかが必要な情報である。

カレーを先に食べるかサラダを先に食べるか順番をみた実験で、サラダを先に摂取する方が食後血糖値は抑えられ、さらにサラダにはフレンチドレッシング(オリーブオイル+食酢+塩)をかけるのがよい。また魚の摂取の多い人ほど HbA1c 値の低下が見られ、これは EPA、DHA が GLP-1 を分泌することにより HbA1c 値が下がると考えられる。

低 GI 食と食後運動を併用する場合は血糖値上昇が抑えられるが、運動のタイミングによっては血糖値が上昇することがあるため、運動するタイミングが重要である。

血糖値に影響を及ぼす薬剤はたくさんあるが、その中で消化酵素製剤のエクセラーゼは低 GI 食の効果を減じ、カフェイン含有している栄養ドリンクではカフェインがインスリンの効きを悪くし、ノンカフェインの栄養ドリンクの方が食後血糖値の上昇を抑えた。

野菜サラダを野菜ジュースに置き換えても食後血糖値の上昇を抑制する効果があるかの実験では、野菜ジュースを食前 30 分前に糖質 15g(200mL)飲むのが一番インスリン分泌を促すことが示唆された。野菜ジュースに含まれる糖質の食前摂取によりインスリン分泌が促進され、米飯摂取後 0～60 分まで高レベルで推移したことから、米飯摂取後の血糖上昇抑制に大きく関与すると考えられ、糖質の吸収過程にも野菜ジュースが抑制的に作用したと推察され、野菜ジュースの摂取により GLP-1 の分泌を促進させることが明らかになり、このことは高血糖状態を速やかに改善するための要因になると考えられた。

今後の低 GI 食研究としては、耐糖能異常のある人での効果検証、低 GI 食がどのような機序で効果を発揮するのか、作用機序を生かす摂取タイミング、最適な摂取量の検討、糖尿病患者への指導に活かす、治療薬との併用効果を検証することである。

血糖値を上げないためには、1.線維質を多く含む野菜や果物から先に食べる、2.牛乳、納豆、酢、オリーブオイルなどの食材を活用する、3.GI 値の低い食品・食材を選ぶ、4.よく噛んで、ゆっくり食べる、5.朝食で血糖値を上げすぎないことで、朝食を見直すだけで血糖値がコントロールでき、しっかり食べてもダイエットができる。

会員表彰

富山県病院薬剤師会学術会員表彰

平成２８年度富山県病院薬剤師会学術会員表彰は市立砺波総合病院　舘美幸先生が受賞されました。制定後２人目の受賞であり、感染制御研修委員会での活動及び研究成果が評価されての受賞です。以下は舘先生の受賞挨拶の要旨です。ご一読いただき会員の皆様の研究活動の励みにしていただければ幸いです。

【当日の挨拶内容から、かなり修正した内容になっておりますことをお許し願います】



このたびは、身に余るような賞を頂き、誠にありがとうございました。推挙していただいた県病院薬剤師会理事会の皆様、一緒に研究をさせていただいた皆様、職場である市立砺波総合病院薬剤科の皆様など、私に関わる全ての方々に心から感謝申し上げます。

今回、表彰の対象となったのは、「富山県の抗菌薬使用量サーベイランス」と伺いました。これは、私個人の研究ではなく、感染制御委員全員で取り組んだ研究です。本来なら、委員長の河井良智先生が表彰されるところだと思いますが、河井先生が、中部労災病院にご転勤されたこともあり、今回、私が委員を代表して受けさせていただきました。

この研究は、2013 年秋、富山大学附属病院感染症科の山本義裕教授による、「富山県での抗菌薬のサーベイランスをやらないか」という提案から始まりました。そこで、当時委員長の河井先生が中心となり、高田加壽代先生、丸岡ひとみ先生、柳原由香子先生等当時の委員が、各施設の抗菌薬使用量算出方法を調査しました。その結果、抗菌薬使用量の算出方法の統一化が必要ということになり、2014 年 3 月から統一化に向けた準備を始めました。2014 年 5 月、河井委員長以外の中心メンバーは退職につき退任となり、現在の委員に代わりました。新たな委員の中で、この研究に特化した「抗菌薬チーム」を結成し、研究を継続することになりました。メンバーは、富山赤十字病院の飯尾志帆先生、黒部市民病院の高野雄介先生、富山労災病院の高橋慎太郎先生と私です。その中で、前回から継続の委員で、一番年長である私が、リーダーとして研究を進めさせていただきました。

まず、今回の研究の道筋をつけて頂いた、先輩の委員の皆様に心から御礼申し上げます。特に高田先生、丸岡先生、柳原先生は、感染について何も分からない私に、常に優しく、丁寧なご指導をしていただきました。また河井先生は、県病薬や大学への研究の協力依頼をはじめ、常に研究がうまくいくようにと支えてくださいました。先輩の先生方と一緒に働かせていただけたこと

を光栄に思います。

抗菌薬チームのメンバーは、私では思いつかないアイディアをたくさん提供してくださる優秀な先生方です。そして、不甲斐ないリーダーを、常にあたたかく支えてくださいました。抗菌薬チーム以外の委員の皆様にも、データ収集や原稿の校正など色々助けて頂きました。ご多忙の中、ご協力を頂いた委員の皆様に心から感謝致します。すばらしい委員に恵まれたことを大変幸せに思います。

そして、今回の研究にご協力頂いた、各施設の感染制御に関わる薬剤師の先生方のお力なくしては進められませんでした。日常業務でご多忙にも関わらず、データ提供にご協力いただき誠にありがとうございました。

さらに、今回の研究では、共同研究者として、山本教授および富山大学大学院医学薬学研究部（薬学）医療薬学研究室の辻　泰弘准教授に加わっていただきました。両先生は、ご多忙にもかかわらず、研究計画書の書き方から、データの解析、発表原稿の校正まで、常に熱心に、懇切丁寧なご指導、ご鞭撻を賜りました。両先生のおかげで、学会発表という形にこぎつくことが出来ました。両先生以外でも、全国の抗菌薬サーベイランスを行った三重大学附属病院薬剤部の村木優一先生をはじめ、多くの先生から貴重なご指導を賜りました。山本先生、辻先生をはじめ、ご指導を賜りました先生方に心から感謝致します。また、感染分野において国内トップの先生方のご指導を仰げることを、大変光栄に思っております。



これから私がしなくてはならないことは、この研究を継続させて、後輩の委員に引き継ぐことだと考えております。これからも、新委員長の富山労災病院の伊藤功治先生及び感染制御研修委員の皆様、各施設の感染制御に関わる先生方、富山大学の山本先生、辻先生など多くの先生のご協力を賜りながら、精進していきたいと思います。今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いします。

本日は、誠にありがとうございました。

Internet Solutions supported by TSUMURA

下記サイトは株式会社ツムラが協賛しています。

豊富な情報で、日常診療を強力にサポート!



インターネット医療関係者向けサイト

漢方スクエア

http://www.kampo-s.jp/

漢方医学と西洋医学の融合により
世界で類のない最高の医療を患者さんに

漢方を学ぶ
- 入門漢方医学
- 領域・疾患別解説
- 処方解説
- 古典解説
- 症例解説
- 生薬解説

学会等イベント
- インフォメーション（動画、記事）
- トピックス
- 専門医が語る（漢方TUBE）
- 研究会リンク

情報誌・書籍
- データベース
- 漢方ライブラリー
- 会員メール記事
- 漢方関連記事
- 漢方特集／書籍
- 随筆

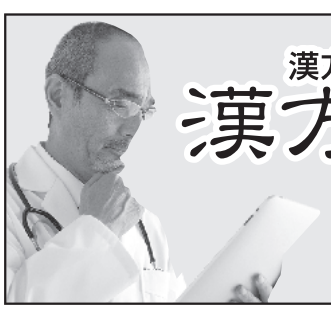
日常診療サポート
- 臨床医の漢方Q&A
- 漢方服薬指導
- 患者様啓発用ツール

漢方を楽しむ
- この人に聞く
- Audio:私と漢方
- ゲームDE学ぼう
- 漢方川柳
- 生薬写真館

―― 役立つ漢方情報が満載! ――

会員登録 3つのメリット

①会員ページを含む、全ての漢方スクエアの内容をご覧頂けます。
②webマガジン「Kampo Square」（月2回発行）がご覧になれます。
③電子書籍・本棚「漢方Library」で漢方関連書籍がダウンロードできます。
iPad・iPhone・Android・PC対応。



漢方スクエア会員専用
漢方ライブラリー

好評配信中

漢方関連書籍がダウンロードできます。
iPad・iPhone・Android・PC対応。
ご利用には会員登録（無料）が必要です。



専門医が語る KAMPO Tube
漢方スクエア会員専用 漢方ライブラリー
Webマガジン（月2回発行） Kampo Square
ラジオNIKKEI医学番組 漢方トゥデイ KAMPO TODAY

大建中湯 daikenchuto http://www.daikenchuto.jp/
六君子湯 rikkunshito http://www.rikkunshito.jp/
抑肝散 yokukansan http://www.yokukansan.jp/
がんと漢方 oncology・kampo http://www.oncology-kampo.jp/

●ご利用には会員登録（無料）が必要です。会員登録は医療関係者のみとさせていただいております。

株式会社ツムラ http://www.tsumura.co.jp/
●資料請求・お問い合せは弊社MR、またはお客様相談窓口まで。Tel.0120-329-970

（2014年8月制作）

MV-3002

★★

新入会員紹介

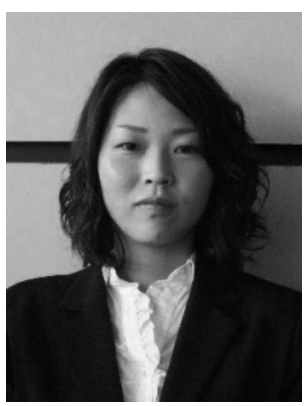
★★

今年も、新しく富山県病薬の会員になられた皆様方を紹介します。
お尋ねした内容は以下の通りです。

氏名（フリガナ、敬称略） ① 生年月日 ② 最終出身大学(院) ③ 勤務している病院／薬局名 ④ 薬剤師を職業に選んだ理由 ⑤ 剤師以外でなりたかった(またはなりたい)職業は？ ⑥ 仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていることは？簡単に自分を紹介してください。

お忙しい中、ご協力をいただきましてありがとうございました。

氏名：田仲 奈津美
①生年月日：1988 年 8 月 21 日
②最終出身大学（院）：近畿大学
③勤務している病院：高岡市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由： 薬について詳しかった父の影響。色んな人から頼りにされたいと思ったから。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：宇宙飛行士
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること： 身体を動かすことが好きで、学生時代にはハンド・ソフト・バスケなどやってきました。今後は好きな運動も続けつつ、新しいことにもどんどん挑戦していきたいです。



氏名： 佐々木　英至(ササキ　エイジ)
①生年月日：1989 年 5 月 7 日
②最終出身大学（院）：愛知学院大学
③勤務している病院：厚生連滑川病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：父が薬関係の仕事をしており小さい頃から薬に触れる機会が多く薬に携わる薬剤師に興味がありました。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業： プロ野球選手
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること： 大切に思っていることは日々感謝を忘れないことです。



氏名： 村岡 美彩（ムラオカ　ミサ）
①生年月日： 1991 年 7 月 21 日
②最終出身大学：北陸大学
③勤務している病院：市立砺波総合病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：実習先でお世話になった薬剤師の先生が現場でご活躍されている姿を見て、患者さんにとって必要な医療を薬剤の点から提供できるような薬剤師になりたいと思ったからです。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：研究職
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：高校で弓道をしていたので、また再開させていただきたいと思っています。



氏名：伊東　潤
①生年月日：1989 年 10 月 19 日
②最終出身大学：新潟薬科大学
③勤務している病院：富山県立中央病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：祖父が元県職薬剤師であり、祖父の影響を受けて薬剤師を目指すようになりました。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：学校の先生
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：食べることと体を動かす事が好きです。県職としては今年が二年目で、一年目は県が運営する浄水場で水質検査等の業務を行っていました。薬剤師として経験できる様々な業務に前向きに取り組んでいきたいと思います。どうか宜しくお願い致します。



氏名： 松本　弘樹



①生年月日：1989 年 10 月 28 日
②最終出身大学（院）：富山大学
③勤務している病院：富山県立中央病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：医薬品に興味があったからです。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業： 発明家
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：高校生のころから合唱を続けており、今では社会人合唱団に所属しています。合唱経験者や歌うことに興味がある人は声をかけてください。

氏名：溝江 泰彦 （ミゾエ ヤスヒコ）



①生年月日：1991 年 1 月 21 日
②最終出身大学（院）：立命館大学
③勤務している病院：富山大学附属病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：薬に興味があったため
⑤薬剤師以外でなりたかった職業： 宇宙飛行士 、警察官
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：富山に住むのは初めてで慣れないことも多いですが早く慣れて、富山県の医療に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願いします。

氏名：友原千絵子



①生年月日： 1982 年 12 月 5 日
②最終出身大学（院）：北里大学薬学部大学院
③勤務している病院：高岡市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：医療に直結する学問だけでなく、広い分野の知識を持って、様々な場所で活躍できる職業だと思い、薬剤師になりました
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：翻訳家
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること： 毎日の暮らしを丁寧に、楽しく過ごすことをモットーにしています。

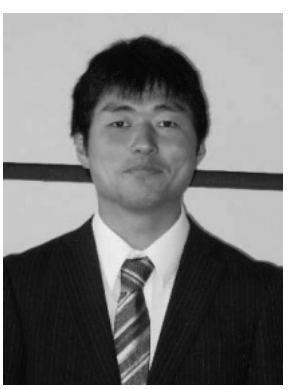
氏名： 笹岡 俊一郎（ササオカ シュンイチロウ）
①生年月日：H3 年 4 月 23 日
②最終出身大学（院）：富山大学
③勤務している病院：富山赤十字病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：実習や研修を通して薬剤師の活躍の場が広がっているのを感じたため。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：麻薬取締官
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：学生時代は準硬式野球部に所属していました。現在も大学と病院のチームに所属して続けています。 何事にも興味を持って取り組み、研鑽に努めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



氏名：磯部　忠良（イソベ　タダヨシ）
①生年月日：1991 年 5 月 28 日
②最終出身大学（院）：摂南大学
③勤務している病院：国立病院機構富山病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：昔から医療系の職業に就きたかったことや高校時代は化学が好きだったこともあり薬学部に進学し、薬剤師を目指そうと思いました。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：動物が好きなので、獣医師を目指していた時期もありました
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：大学時代に不摂生な生活を続けていてだいぶ太ってしまったので、最近は体重を落として健康的になれるようがんばっています。



氏名：譲原　千広（ユズリハラ　チヒロ）
①生年月日：1989 年 11 月 10 日
②最終出身大学（院）：富山大学
③勤務している病院：公立南砺中央病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：医療系に興味があったため
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：医師
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：体を動かすことが好きなので定期的に運動できる機会を探しています。薬剤師としても人としても、繋がりを大切に出来るようになりたいです。



氏名：桧物　拓也（ヒモノ　タクヤ）



① 生年月日：1991 年 9 月 7 日
② 最終出身大学（院）：富山大学
③ 勤務している病院：済生会富山病院
④ 薬剤師を職業に選んだ理由：薬に興味があったため
⑤ 薬剤師以外でなりたかった職業：美容師
⑥ 仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：料理を頑張っています。レシピ通りにｇ（またはｍｌ）単位できっちり測りとってもなかなかうまくいかず、仕事とは違い「サジ加減」の重要さを実感しています。

氏名：八幡　静香（ヤハタ　シズカ ）



①生年月日：1991 年 8 月 22 日
②最終出身大学（院）：富山大学
③勤務している病院：厚生連高岡病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：薬がどのようにして効くのか興味があったから。また、人の役に立つ仕事につきたいと思っていたから。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：医師
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：ボウリングを頑張っています。地元のクラブチーム所属し、月２回の月例会に向けて練習に取り組んでいます。今年はパーフェクト達成を目指します。

氏名：灘　美沙希（ナダ　ミサキ）



①生年月日：平成 2 年 4 月 30 日
②最終出身大学（院）：岐阜薬科大学
③勤務している病院： 厚生連高岡病院
④薬剤師を職業に選んだ理由： 大学５年生時の病院実習で、指導薬剤師の方がとても尊敬できる方だったので、病院薬剤師を選びました。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業： 子供の頃はケーキ屋さんになりたかったです。その影響かアルバイトも飲食店を選ぶことが多かったです。
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：高校、大学とバドミントンを続けています。今でも毎週木曜日に社会人サークルに参加しています。体力には自信があります。

氏名：八代　智江（ヤシロ　トモエ）
①生年月日：1990 年 5 月 23 日
②最終出身大学（院）：富山大学
③勤務している病院： 砺波総合病院
④薬剤師を職業に選んだ理由： 幼い頃、写真付きの生薬の本を眺めるのが好きで薬に興味を持ちました。また人の健康に関わる仕事がしたいと考えていたので、職業に薬剤師を選択しました。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業： カラーセラピスト
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：社会人の合唱団「楽音樹」に所属し、アルトパートの1 人として頑張っています。漢方や鍼灸に興味があり、最近少しずつ勉強を始めました。



氏名：岡村　吏華（オカムラ　リカ）
①生年月日：1988 年 8 月 3 日
②最終出身大学：金城学院大学
③勤務している病院：射水市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：薬に興味があったから
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：特になし
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：ヨガに通っています。心身ともに健康でいられるよう頑張っています。



氏名：橋本　尚人
①生年月日：1981 年 10 月 13 日
②最終出身大学：北里大学
③勤務している病院：富山市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：医療や薬に興味があったから。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：特になし。
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：４月から保健所から病院に移動になり、環境も変わったので、運動など新しいことに挑戦したいと考えています。



氏名：中村　尚子
①生年月日：1986 年 1 月 26 日
②最終出身大学：北陸大学
③勤務している病院：富山市民病院
④薬剤師を職業に選んだ理由：化学の授業が好きだったことと、医薬品に興味があり人の役に立つ仕事だと思ったから、又どこへ行っても働ける職業だと思ったから選びました。
⑤薬剤師以外でなりたかった職業：ピアニスト
⑥仕事以外でがんばっていること、得意なこと、大切に思っていること：
２歳の子供がいるので今は仕事以外は子育てを頑張っています。週一回子供とスイミングに通って楽しく運動するようにしています。まわりの働くママさん薬剤師を見習って、ゆっくりでもいいから勉強を続け、この仕事を続けていくことが大切だと思っています。



特集：専門委員会活動方針

富山県病院薬剤師会各専門委員会委員長活動方針

以下の通り、これから２年間富山県病院薬剤師会の活動を支える専門委員会の委員長が選出されました。早速各委員長に今後の活動方針を伺ってみました。

専門委員会委員長（平成 28 年度）

感染制御研修委員会	伊藤　功治（富山労災病院）
広報委員会	篠田　健一（済生会富山病院）
学術委員会	吉田　英樹（八尾総合病院）
ＤＩ委員会	蛭谷　一彦（富山赤十字病院）
研修委員会	守内　　匡（北陸中央病院）
がん化学療法・緩和ケア研修委員会	髙畑　英信（市立砺波総合病院）
厚生委員会	梅津　博之（あさひ総合病院）
情報委員会	堂川　嘉久（富山逓信病院）
総務委員会	堂川　嘉久（富山逓信病院）
会報編集委員会	脇田　真之（射水市民病院）
選挙管理委員会委員長	小野　敦央（富山大学附属病院）

＊　選挙管理委員会については、その活動内容の性質から、活動方針の提示がありません。

＊＊

感染制御研修委員会活動方針

感染制御研修委員長　　伊藤　功治（富山労災病院）

＊＊

本委員会の委員長を２期４年務められた河井部長を引き継いで、本年度から委員長を務めさせていただきます。皆様どうぞよろしくお願いします。

平成 22 年度の診療報酬改定で感染防止対策チーム（ICT）の具体的な業務が明示され、抗菌薬の適正使用を管理するための体制整備が求められました。平成 24 年度には感染防止対策加算および感染防止対策地域連携加算が新設され、会員施設におきましては、ICT による院内ラウンドの実施や抗菌薬の適正使用、職員の感染防止等にご活動されていることと思います。

これまで当委員会では、各施設で実践されている抗菌薬の届出制（許可制）による処方監視や使用状況、検出細菌の薬剤感受性などに関する資料を基に、会員施設との比較資料の作成や多施設共同による研究活動を実施してきました。

また、施設間の連携や情報共有を図り、抗菌薬や消毒薬の適正使用や各種ガイドラインやマニュアルの作成など各施設の活動に参考となるような研修会を開催してきました。

今年度も引き続き、富山県病院薬剤師会としての研究活動を実施するとともに、①他職種との情報交換ができ、感染制御専門（認定）薬剤師、抗菌化学療法認定薬剤師を目指す会員の先生方の単位取得に繋がるよう年４回の研修会を開催します。②会報連載の「Infection Control Note」を担当し、感染制御に関わる薬剤師に有益な最新情報を提供します。

これらの活動を通じて、富山県病薬会員施設の感染管理に貢献できればと思います。

＊＊



広報委員会活動について

広報委員長　篠田 健一（富山県済生会富山病院）

＊＊

会長が替わったこともあり、今年度も、・・・引き続き広報委員会の委員長を務めることになりました。この２年間で、チーム医療を推進することの重要性がさらに増し、チーム医療における薬剤師の一層の展開、薬剤師の資質向上等、病院薬剤師にとっても重要な時期です。

平成 28 年度の診療報酬の改定では、薬剤管理指導料 1 が廃止され、救急・集中治療での薬剤師の配置を評価する病棟薬剤師実施加算 2 が新設され、これからさらなる活発な病棟薬剤業務が期待されています。しかし、薬剤師のマンパワーの供給状況は、必ずしも十分と言えず、直ちに、診療報酬の改訂に対応できない場合もありますが、着実に前進しています。このよ

うな中で、富山県病院薬剤師会各種専門委員会では、新会長のもと、役員も若返り、広報委員会を始め、他専門委員のメンバーも一新され、活発な委員会活動が展開されることと思います。

広報委員会では、例年通り他の委員会とも連携し各委員会主催の研修会の要旨をまとめ、日本病院薬剤師会、薬事日報社、富山県病院薬剤師会会報、ホームページへ投稿することで富山県病院薬剤師会の活発な活動内容を県内及び広く全国の病院薬剤師会会員に向け発信、研修会の内容を会員に紹介することで病院薬剤師の資質向上に繋がるよう広報活動を通して、活動していきます。わずかながらでも当日の熱気・内容を嗅ぎ取ってもらい、次回参加へのきっかけになればと思います。今年から更に若返った各種委員会の活動に期待しています。

最後に、新会長の運営方針に従い、また従来の広報委員会の基本方針に沿い、貢献していければと考えています。会員の皆さまのご協力をお願いします。



＊＊

学術委員会活動方針

学術委員長　吉田 英樹（八尾総合病院）

＊＊

学術委員会を担当することになりました。よろしくお願い致します。
今年度の学術講演会の予定についてご紹介します。

第 418 回　学術講演会　平成 28 年 8 月 27 日（土）
厚生連滑川病院　薬剤部　宮崎　徹　先生
富山大学　消化器・腫瘍・総合外科　　長田　拓哉　先生

第 419 回　学術講演会　平成 28 年 10 月 15 日（土）
富山県大学医学薬学研究部　産婦人科学教室
富山大学附属病院　第三内科　峯村　正実　先生

第 420 回　学術講演会　平成 28 年 11 月 19 日（土）
富山大学附属病院　整形外科　診療准教授　下条　竜一　先生
富山大学附属病院　整形外科　診療教授　川口　善治　先生

富山県薬剤師会と共催講演会、「富山薬剤師フォーラム」については２回、「富山漢方調剤フォーラム」は１回開催を予定しております。

第 5 回　富山薬剤師フォーラム　心不全を学ぶ会　平成 28 年 7 月 21 日（木）
富山大学附属病院　薬剤部　村崎　善之　先生
富山大学医学部　第二内科　教授　絹川　弘一郎　先生
第 6 回　富山薬剤師フォーラム　緩和を学ぶ会　平成 28 年 9 月 29 日（木）
石川県済生会金沢病院　外科　診療部長　龍澤　泰彦　先生
第 7 回　富山県薬剤師フォーラム　平成 29 年 1 月 29 日（日）
たてやまクリニック　周　海燕　先生
富山大学　ウイルス学　教授　白木　公康　先生

今後、実りのある学術講演会を開催することを目標に委員会活動を実施して参りますので、ご意見ご要望など気軽に学術委員に声をかけて下さい。

＊＊

DI 委員会活動計画

DI 委員長　蛭谷　一彦（富山赤十字病院）

＊＊

ＤＩ委員会では、主な事業として学術研修会を開催して参りました。昨年度に開催した「がん薬物療法における暴露対策合同ガイドライン」研修会では、グループ単位の参加型としたところ非常に好評でした。今年度も引き続き、新しい話題に的を絞り研修会を開催したいと考えております。

また、ＤＩ委員会は、プレアボイド推進を図る役目も担っております。プレアボイドは、平成11年より日本病院薬剤師会が開始した事業です。現在では、病院薬剤師業務の大半がプレアボイドに当たるといえます。以前のように施設ごとに報告件数を競う時代は過ぎたと考えますが、重大な副作用の回避事例や特殊事例を報告していくことは、その事例を振り返り整理できるため医療安全対策に繋がります。より安全・安心な医療を目指す上で、今後も継続的に報告下さればと思います。

なお、今年度もＤＩ委員会活動にご指導、ご協力の程よろしくお願い致します。

＊＊

研修委員会活動計画

研修委員長　守内　匡（北陸中央病院）

＊＊

研修委員会は、薬剤師を対象とした研修会の企画・運営を行う委員会です。従来より、「日病薬生涯研修認定制度の審査」と「新人薬剤師対象の研修」の 2 つの事業を手掛けてきました。本年度もこの 2 つを中心に実施したいと考えています。

1 つ目の事業は、毎年、会員の年間 40 単位以上の取得により申請された研修を審査する事業です。5 年間連続して取得した場合に交付される「生涯研修履修認定証」を交付する日病薬生涯研修履修認定制度は、平成 34 年 6 月 30 日をもって廃止されます。ただ、単年度の日病薬生涯研修認定制度認定は、継続していく予定です。従って、本事業は、今後も継続する必要があります。年度末には生涯研修認定の申請手続きをしますので、会員の皆様は研修会・講習会等に積極的に参加し、年間 40 単位以上取得を目指してください。なお、平成 27 年度より開始された日病薬病院薬学認定薬剤師制度とは、独立した制度です。こちらは、本委員会の事業ではありません。履修すべき学習項目（5 領域 16 項目）の必要単位数を取得し、書類審査を経て認定試験を受験。委員会・理事会の承認を経て、認定される制度です。平成 29 年度までの 3 年間で 50 単位取得できた場合、平成 30 年に認定薬剤師が輩出されます。こちらにも注力していただければと思います。

2 つ目の薬剤師対象の研修会は、これまで新人薬剤師を対象に行ってきました。本年度は、県内で活躍している専門・認定薬剤師の方々を中心にご講義をいただき、理想の薬剤師像をそれぞれに描く場を提供したいと考えています。新人には夢を、中堅・ベテランには業務の再考する場を提供したいと考えています。研修会の詳細については、講師の立候補・推薦を含めて、本委員会までご意見を頂ければと思います。よろしくお願いします。

＊＊

がん化学療法・緩和ケア研修委員会活動計画

がん化学療法・緩和ケア研修委員長　髙畑　英信（市立砺波総合病院）

＊＊

がん化学療法・緩和ケア研修委員会は、がん化学療法・緩和ケアなどに関する知識・技術の向上を図るための研修会、勉強会等の企画・立案・運営を行っていきます。

がん化学療法の領域では、新たな分子標的薬などが次々と市販され、緩和医療の領域でも、医療用麻薬の使用が推進されています。一方で、薬の種類や量を減らす取り組みも薬剤師に

求められています。さらに、PD-1 阻害薬オプジーボや C 型肝炎治療薬ハーボニー・ソバルディの薬価収載は高額療養費制度の根幹にかかわる事態となっています。つまり、高額な薬の出現により費用対効果が求められる時代になってきました。

会員の皆様からは、「がん化学療法・緩和ケア」に関する新薬、多職種連携、在宅医療、地域連携など様々な分野に関するご意見をお待ちしています。

今後とも本委員会にご指導・ご協力をお願い致します。

＊＊

厚生委員会活動計画

厚生委員長　梅津　博之（あさひ総合病院）

＊＊

平成28年度より引き続き、厚生委員会に携わることになりました。宜しくお願い致します。

厚生委員会の主たる目的は会員間の相互交流、そのための行事の企画、運営等を目的としております。

以前は囲碁大会、ゴルフ大会、ボウリング大会、テニス大会などがありましたが、ここ数年は行事も途絶えておりまして反省をしているところです。

皆様からいろいろ御意見を頂戴しながら企画をしていきたいと思っておりますので、その節は宜しくお願いいたします。ご意見、ご希望ございましたら、ご一報ください

＊＊

情報委員会活動計画

情報委員長　堂川　嘉久（富山逓信病院）

＊＊

情報委員会は、富山県病院薬剤師会のホームページ（http://www.toyama-byouyaku.com/）と富山県病院薬剤師会｜Facebook （http://ja-jp.facebook.com/pages/富山県病院薬剤師会/262431467107977）での管理運営を行っています。

ホームページで公開している病薬カレンダー（行事予定）と重複しますが、Facebook では主に学術研修会等の予定を掲載しており、Facebook の機能から個々にコメントが可能ですので、ご意見ご感想などありましたらコメント頂けると幸いです。Facebook のアカウントをお持ちの方は、ぜひ一度お立ち寄り下さい。

これらが今後さらに活発に利用されることを願っています。ホームページのユーザー名とパスワードは、会報の最終ページに記載されていますのでご確認ください。

＊＊

総務委員会活動計画

総務委員長　堂川　嘉久（富山逓信病院）

＊＊

総務委員会は、会務の事務処理全般を扱う委員会であり、会員の皆さんから直接見える活動は少ないのですが、一番大きな業務として、薬学生の実務実習に関わる調整作業を行っています。コアカリキュラムの改訂が行われ、今期からはそれに則した病院実務実習が行えるよう、いくつかの課題を克服していく期間となりますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

＊＊

会報編集委員会活動方針

会報編集委員長　脇田　真之（射水市民病院）

＊＊

会報編集委員会では年 3 回（7 月、11 月、3 月）皆さんが今ご覧になっている「病薬会報」を発行しています。Infection Control Note 富山、６年制実務実習、シリーズ食べ歩き等の連載の他、学会参加記や各種特集等バラエティに富んだ内容を掲載して、会員の皆さんに愛される会報を目指しています。この間、各専門委員会委員が決定しましたが、会報編集委員会では 5 人の新委員を迎え一気に若返りました。これから、益々若手の先生の力を活用して新しい企画に取り組めるのではないかと期待をしています。「病薬会報」は会員の皆さんの投稿で成り立っています。活発なご投稿を宜しくお願いいたします。

平成28年度富山県病院薬剤師会専門委員名簿

[研修委員]

◎	守内　匡	北陸中央病院	朱亀　真喜子	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
	倉田　徹	黒部市民病院	直井　一久	富山大学附属病院
	石原　章奈	富山市民病院	酒井　由貴江	砺波総合病院
	木原　弘	厚生連高岡病院	中川　武史	金沢医科大学氷見市民病院

[がん化学療法・緩和ケア研修委員]

◎	高畑　英信	砺波総合病院	岸　三重子	富山県立中央病院
	米山　栄司	黒部市民病院	高木　昭佳	富山大学附属病院
	大久保　純	済生会高岡病院	久田　勢津子	砺波総合病院
	堀川　貴大	富山赤十字病院	野澤　寿吉	富山市民病院
	吉川　英里	高岡市民病院	大谷　有道	厚生連高岡病院

[学術委員]

◎	吉田　英樹	八尾総合病院	八木　茂樹	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
	小泉　洋子	富山県立中央病院	村崎　善之	富山大学附属病院
	濵元　孝	富山労災病院	旭　美樹	砺波総合病院
	四谷　綾乃	黒部市民病院	坂林　加奈子	高岡市民病院
	松井　雄一	済生会高岡病院	尾崎　勝己	八尾総合病院
	辻　未希子	厚生連高岡病院		

[会報編集委員]

◎	脇田　真之	射水市民病院	植竹　龍一	富山大学附属病院
	芝田　和輝	済生会富山病院	磯 晋太郎	砺波総合病院
	八木　素子	富山県立中央病院	譲原　千広	公立南砺中央病院
	瀬古　成美	富山赤十字病院	木澤　元之	南砺市民病院
	今村　理佐	富山逓信病院	清水　雅子	厚生連高岡病院
	森谷　道生	富山労災病院		

[情報委員]

◎	堂川　嘉久	富山逓信病院	川尻　憲行	富山大学附属病院

[感染制御研修委員]

◎	伊藤　功治	富山労災病院	杉田　真理子	富山県立中央病院
	高野　雄介	黒部市民病院	窪田　佳代子	富山大学附属病院
	舘　美幸	砺波総合病院	飯尾　志帆	富山赤十字病院
	脇田　真之	射水市民病院	加藤　貴子	金沢医科大学氷見市民病院
	船本　哲生	厚生連高岡病院	守内　匡	北陸中央病院
	髙橋　慎太郎	富山労災病院		

[DI 委員]

◎	蛭谷　一彦	富山赤十字病院		伊東　　岳	富山県立中央病院
	山下　岳至	高岡ふしき病院		九良賀野　司	富山大学附属病院
	堀　竜太郎	かみいち総合病院		釣　　真之	砺波総合病院
	宮田　絢子	八尾総合病院		朱亀　進司	富山市民病院
	大坪　あい子	高岡市民病院		松森　智士	金沢医科大学氷見市民病院

[広報委員]

◎	篠田　健一	済生会富山病院		黒崎　俊美	山田温泉病院
	平井　邦彦	かみいち総合病院		吉井　由比子	富山県立中央病院
	工藤　直紀	谷野呉山病院		高畑　裕子	砺波総合病院
	山田　麻利名	富山市民病院		立石　健史	厚生連滑川病院
	吉川　崇志	厚生連高岡病院		道淵　絢子	高岡市民病院

[厚生委員]

◎	梅津　博之	あさひ総合病院		澤武　功純	富山市民病院
	齋藤　雅仁	黒部市民病院		宮崎　徹	厚生連滑川病院
	岡村　吏華	射水市民病院			

[総務委員]

◎	堂川　嘉久	富山逓信病院		有生　明雄	富山赤十字病院
	酒口　弘光	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター		高崎　京子	富山県立中央病院
	朱亀　進司	富山市民病院			

[選挙管理委員]

◎	小野　敦央	富山大学附属病院		黒田　季花	富山市民病院
	小原　卓	富山赤十字病院		麻生　美佐子	高岡市民病院
	岡村　元靖	厚生連高岡病院			



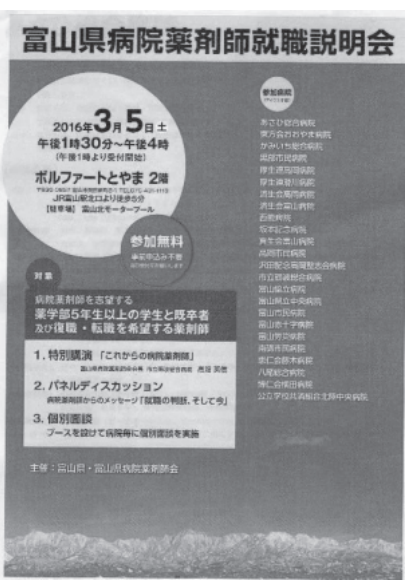
就職説明会

第３回富山県病院薬剤師就職説明会を開催して

市立砺波総合病院薬剤科長　髙畑英信

富山県の深刻な病院薬剤師不足を補うために富山県病院薬剤師就職説明会を開催して３回目になりました。今回、33 人の方にご参加いただきました。

第３回を開催するにあたり、病院薬剤師は富山県で何名不足しているか調査したことがありませんでした。今までは、病院の薬剤師募集定員に対してのデータしか報告されていませんでした。病院薬剤師が診療報酬に大きく関与するものに①薬剤管理指導料、②病棟薬剤業務実施加算、③退院時薬剤情報管理指導料の３つがあります。この３つを 100%実施するには、何名の薬剤師が不足しているかアンケートをとりました。その結果、74 施設のうち 44 施設から回答があり、134 名不足していることがわかりました。



そこで、当病院薬剤師会では北陸地区の薬学生だけでなく全国の薬学生及び復職を希望する薬剤師を対象に、病院薬剤師就職説明会（ブースを設けての病院毎の個別面談）を開催しました。その内容についてご説明いたします。

Ⅰ．いつ、どこで

昨年度（平成 26 年度）、富山県から病院薬剤師確保事業としての支援を受け、新卒薬剤師の就職及び薬剤師(特に女性薬剤師)の復職支援を図る目的として 30 万円の予算を確保することができました。また、本会を開催するにあたり、就職協定を守り３月に開催すること、薬学会年会を考慮すること、案内ポスターを作製すること等があげられ、下記の通り、開催する運びとなりました

記

開催日時：平成 28 年 3 月 5 日（土）　午後 1 時 30 分～午後 4 時

開催場所：ボルファートとやま 2 階

Ⅱ．開催前の準備

会員病院に説明会への参加案内をしたところ、昨年の 29 病院を下回りましたが、24 病院から応募がありました。ポスターも昨年同様青色を基調とし、立山連峰を背景にしたポスターを作製しました。そして、薬学部がある全国の国公私立 74 大学と県内のハローワークに開催の案内とポスターを郵送しました。

なお、実施要領は下の通りです。

（1）　本説明会の実施主体は富山県・富山県病院薬剤師会とし、参加病院は募集により申込みのあった会員病院とする。

（2）　説明の方法は、各病院の個別ブース形式によるものとし、参加者の自由巡回による説明とする。

（3）　参加病院のブースの配置は、参加病院名のｱｲｳｴｵ順に別紙会場図 1*)のとおりとする。

（4）　１ブースには、テーブル１個と、椅子 5 個程度用意する。

（5）　参加病院の参加料は 5,000 円とする。

なお、募集説明に係るパンフレット、パソコン、ポスター等の消耗品、備品、旅費、飲食代その他特殊機材等は参加病院の負担とする。

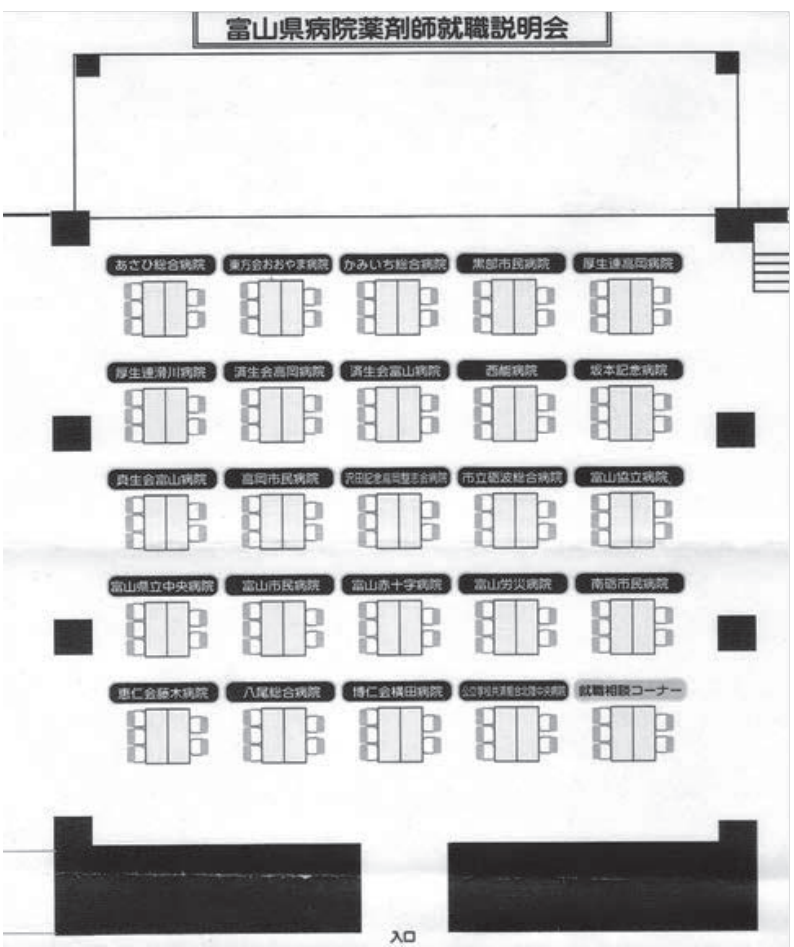
また、パソコンを使用する場合は、電源がないので各自バッテリーを持参すること。また、会場壁面へのポスター等の貼付は禁止とし、背面に掲示したい場合は、掲示できる資材を各自用意すること。

（6）　開会挨拶・特別講演・パネルディスカッション終了後、休憩時間をとる。参加者を室外に誘導し、その間に別紙会場図 1*)のとおり配置換えを行う。配置換え終了後、再度、参加者を室内へ誘導し、各ブースへの自由巡回による個別面談を実施する。

（7）　病院の個別面談を希望しない参加者を対象に就職相談に応じる。

（8）　受付付近にドリンクコーナーを設置し、ジュース類、お菓子を自由に飲食できるようにする。

なお、会場準備は、当日 12 時 30 分時から行うので、担当役員及び参加病院の関係者は 12 時 30 分時までにボルファートとやま２階に集合すること。



その他

この要領に定めるもののほか、本事業の実施に必要な事項は別に定める。

*)別紙会場図 1（右図）については、当日会場にて公表する。

また、参加者に病院の内容が一目でわかるように小冊子を手作りで作成しました。パンフレットの上部には病院名、理念、キャッチフレーズ等、中部には自由に病院概要等、下部には定型による病床数、診療科数、現薬剤師数、来年度募集時期（予定）、来年度採用予定数が載せてあります。

Ⅲ．説明会当日

開催日には、県病薬と参加病院のスタッフ約 60 名が 12 時 30 分に会場に集合し、全員で会場設営を行いました。

当日のプログラムは以下の通りです。

１．特別講演「これからの病院薬剤師」13:30～13:45

富山県病院薬剤師会会長

市立砺波総合病院　高畑　英信



２．パネルディスカッション

薬学部６年生卒業生より

「就職の判断、そして今」13:45～14:00

座長　かみいち総合病院　高城　正利

薬学部６年制卒業生を代表して

大坪　あい子　（高岡市立高岡市民病院）

農作　友里　（済生会富山病院）

坂東　翔　（富山市立富山市民病院）

前田　真奈美　（富山県立中央病院）



３．個別面談

14:10～16:00

ブースを設けて病院毎に個別面談を実施しました。１回の面談時間を 20 分とし、できるだけ多くの医療機関を回っていただきました。



マスコミ関係では北日本新聞社、富山新聞社の取材がありました。

参加人数は 33 名で、アンケート回収人数は 27 名でした。

回答者は、すべて薬学部 5 年生で、出身県の内訳は富山県 19 名、新潟県 2 名、福井県、愛媛県・滋賀県・長野県・栃木県・岡山県各々1 名でした。

設問１．今回の就職説明会は、今後の就職活動の役に立ちましたか。

たいへん役に立った	12 名
役に立った	15 名
あまり役に立たなかった	０名
役に立たなかった	０名

設問２．特別講演は就職活動の役に立ちましたか。

たいへん役に立った	6 名
役に立った	20 名
あまり役に立たなかった	1 名
役に立たなかった	０名

設問３．パネルディスカッションは就職活動の役に立ちましたか。

たいへん役に立った	9 名
役に立った	14 名
あまり役に立たなかった	3 名
役に立たなかった	０名

設問４．就職に際して特に何を優先しますか。該当項目３つ選択／名

仕事内容　16 名、病院の規模　6 名、給与 14 名、休み　4 名、

立地条件　11 名、やりがい 15 名、職場の雰囲気　15 名、大学の勧め　０名、親の意見　０名、その他　０名

設問５．今回の就職説明会の要望など

①大変参考になりありがとうございました。

Ⅳ．説明会を終えて

24 病院に参加していただき、たいへんありがとうございました。この説明会を通して、一人でも多くの薬剤師が富山県内の病院に就職することを願っております。今回、1 回の面談時間を 20 分としたところ、前半は給与額が高い医療機関の面談が多く、後半は比較的診療科の多い医療機関の面談が多かったような気がします。前年度の薬剤師国家試験合格率は高かったのですが、富山県内の薬剤師国家試験合格者数は 31 名で、全国最下位でした。来年度、富山の地で一人でも多く病院薬剤師として輝いていただけるよう、会員皆様のご協力をお願いいたします。

6年制実務実習

薬剤師国家試験への対策

富山大学大学院医学薬学研究部（薬学）・薬物治療学研究室
新田 淳美

平素より、富山大学薬学部の教育へのご理解・ご支援を賜り、心より感謝致します。今年の実務実習も１期が後半となり、トラブルもなく順調に進んでいるのも先生方のご指導のお陰です。ありがとうございます。

前号では、「最近の薬剤師国家試験」について紹介しましたが、今回では、「最近の国家試験対策」について紹介します。それほど勉強しなくともと、私も含め、多くの方が記憶にあるとますが、今は超高偏差値の大学も含め、国試には合格しなければとの思いを学生も大学持ち、軽重に差があるものの対策を練っています。

富山大学薬学部での国試対策を紹介致します。５年生の３月と６年生の５月ごろに、それぞれ「プレ模試」「スタートアップ模試」があります。これは、業者が、前年度に使用した模擬試験の問題で構成され問題数も実際の半分くらいです。平均点は４割くらいですが、時折、全国で１ケタの順位の学生もいます。そして、７月末に「ステップアップ模試」があります。これも、過去の模試や国試の問題から出されていますが、実際の問題数と同じ 345 題になります。この模試でも、本学の学生は惨憺たるものですが、卒業研究で忙しいこともあり、結果については、あまり、気にしていないように見えます。１０月になると「全国統一模試Ｉ」が始まりますが、平均点は全国レベルを大きく下回り、合格基準の 65%を満たす学生は少数です。１１月になり、卒業研究が終了し、国試のための勉強一色６年生はなります。業者から派遣された講師による講習が大学で行われます。富山大学では、費用の関係もあり、講習は１１月から１月の間に１２，３回です。この講習は、国試合格を目的とした内容に特化されます。この講習だけ受ければ、他の６年間の授業は必要なかったという学生もいますが、６年間積み上げてきた知識や実習で得た経験があるからこそ、「語呂あわせ」も効果的になると大学教員としては思いたいところです。１月早々に「全国統一模試 II」があり、全国平均に追いつき、２月にある「全国統一模試 III」で、平均を上回るのが例年のパターンです。その間、図書館で勉強する者、自宅で勉強する者いろいろです。国家試験当日は、国試対策担当教員がバスとホテルを手配し、金沢の会場まで行っての受験となります。国公立大学では、概ね、状況は同じと思います。他大学では１１月～１２月に世界１週旅行に行った学生がいるという話しも聞きますし、本学でも卒論研究終了後の１１月と１２月後は終日バイトをして、勉強は１月からの学生がいたことを耳にしたこともあります。現学部長は“模試の点数が振るわない学生を呼んで、激励をする”ようになりました。そのおかげで、新課程になってからの国家試験は、本学は全国平均合格率上回っています。

このように勉強をして、国家試験に臨み、で合格した者が、先生方の職場へ新人薬剤師として配属されていっている次第です。

今後とも、本学の薬学部生および卒業生に対し、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

持田製薬 がん領域の製品ラインナップ

MOCHIDA ONCOLOGY

発売準備中

抗悪性腫瘍剤　毒薬、処方箋医薬品注)　　薬価基準未収載

オキサリプラチン点滴静注液 200mg/40mL「ホスピーラ」

（オキサリプラチン・注射液）　製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

発売準備中

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤　劇薬、処方箋医薬品注)　　薬価基準未収載

ゲムシタビン点滴静注液 200mg/5.3mL 1g/26.3mL「ホスピーラ」

（ゲムシタビン塩酸塩・注射液）　製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

抗悪性腫瘍剤　毒薬、処方箋医薬品注)　　薬価基準収載

オキサリプラチン点滴静注液 50mg/10mL 100mg/20mL「ホスピーラ」

（オキサリプラチン・注射液）　製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

抗悪性腫瘍剤　毒薬、処方箋医薬品注)　　薬価基準収載

パクリタキセル点滴静注液 30mg/5mL 100mg/16.7mL「ホスピーラ」

（パクリタキセル・注射液）　製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

タキソイド系抗悪性腫瘍剤　毒薬、処方箋医薬品注)
日本薬局方　ドセタキセル注射液　　薬価基準収載

ドセタキセル点滴静注液 20mg/2mL 80mg/8mL 120mg/12mL「ホスピーラ」

製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

抗腫瘍性抗生物質製剤　劇薬、処方箋医薬品注)　　薬価基準収載

エピルビシン塩酸塩注射液 10mg/5mL 50mg/25mL「ホスピーラ」

（エピルビシン塩酸塩・注射液）　製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

抗悪性腫瘍剤　劇薬、処方箋医薬品注)　　薬価基準収載

イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg 100mg「ホスピーラ」

（イリノテカン塩酸塩水和物・注射液）　製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤　劇薬、処方箋医薬品注)　　薬価基準収載

ゲムシタビン点滴静注用 200mg 1g「ホスピーラ」

（ゲムシタビン塩酸塩・凍結乾燥注射剤）　製造販売元（輸入元）:ホスピーラ・ジャパン株式会社

G-CSF製剤　処方箋医薬品注)　　薬価基準収載

フィルグラスチムBS注 75μg 150μg 300μgシリンジ「モチダ」

（フィルグラスチム（遺伝子組換え）[フィルグラスチム後続1]・注射液）
製造販売元:持田製薬株式会社

注）注意－医師等の処方箋により使用すること

※「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等の詳細は添付文書をご参照ください。

販売<資料請求先>
MOCHIDA
持田製薬株式会社
東京都新宿区四谷1丁目7番地
0120-189-522（くすり相談窓口）

2015年10月作成



今回は海のカフェ・レストラン Sazan（サザン）を紹介いたします。富山湾、新湊マリーナ緑地公園内のカフェ・レストランで店内客席、テラス席からは新湊マリーナ、新湊大橋を望むことができます。晩に行くと本格的なフレンチをいただくことができるのですが、ランチタイムには、オムライス、うどん、そば、ラーメンなどのメニューもあり、気軽に食事を楽しむこともできます。



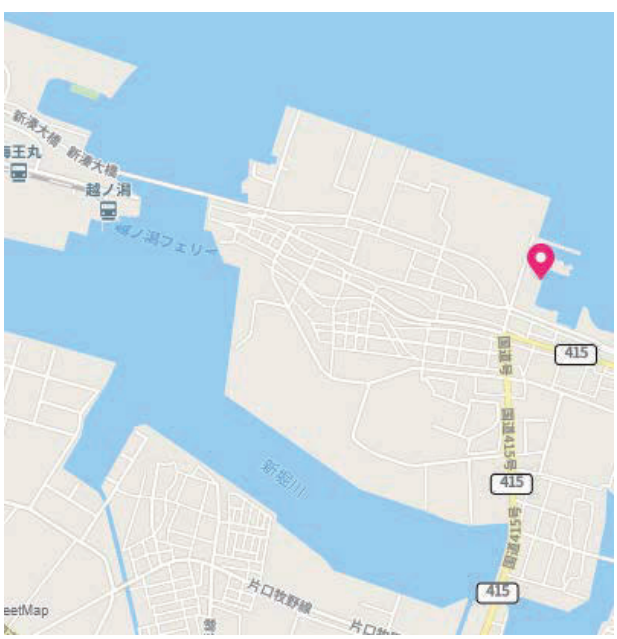
店内に入ると、客席からは多くのヨットが係留された新湊マリーナ、テラス席からは新湊大橋を望むことができ、素晴しいロケーションです。もちろん料理も申し分なく、ディナーコースも 2000 円～4000 円程度でリーズナブルです。また 7 月からは第 2.第 4 金曜日は、PM18:00 より ディナーバイキング（2500 円、要予約）が始まります。是非、同僚、家族、お友達と綺麗な景色とおいしい食事を楽しんでみてはいかがでしょうか。



ディナーコースの一例





DATA
所在地　射水市海竜新町 2
営業時間 9:00〜22:00
定休日　火曜日
お問い合わせ先　0766-86-2033
URL
https://www.facebook.com/Bay.Sazan

講習会参加記

第36回富山県臨床工学セミナー
「誰にでも良くわかる心電図」（初級コース）に参加して

射水市民病院　脇田 真之

2016 年 7 月 10 日（日）9 時～17 時 富山大学高岡キャンパス講堂で開催された第 36 回富山県臨床工学セミナー「誰にでも良くわかる心電図」（初級コース）に参加しました。このセミナーは（一社）富山県臨床工学技士会が主催するセミナーで（公社）富山県医師会、（公社）富山県看護協会をはじめ数多くの県内医療系団体が後援しています。富山県病院薬剤師会も今年から後援団体に参加することになり、後援団体会員として 5000 円で受講できるようになりました（一般は 6000 円）。講師は中部大学生命健康科学部特任教授・名古屋掖済会病院心臓血管外科部長の平手裕市先生で、先生の「誰にでもシリーズ」心電図モニター講習会は、なんと全国24都道府県で累計 300 回開催され5万人が受講しているそうです。その実績に驚きながら、早速セミナーの参加申し込みをすることにしました。



講習会当日、主催者から案内のあったように昼食と赤・青・黒の 3 色ボールペンを持参して講習会

開始の 30 分前に会場の富山大学高岡キャンパスに向かいました。受付をして会場の講堂に入るとすでに多くの受講者が着席しており、講習会の開始時には400 人収容の会場の8割程が埋まっていました。若い女性が多く、看護学生や看護師さんが多いのかなと思いましたが、中には僕と同年輩の男性もいたりして、色々な職種の人が来ているのかなと思いました。

早速、講義が始まります。受付で渡された B6 版の 162 頁のテキストを開くと、所々に空欄と心臓の模式図が配置されており、受講しながら書き込んでいく方式になっています。ここで、必要なのが 3 色ボールペン、正常な事象を青色で、異常な事象を赤色で書き込むことで、最終的に書き込み終わったテキストは復習する時にわかりやすくなるように工夫されています。昼休みを除いて約 7 時間の長い講義ですが、書き込まなければならないので眠っている暇なんてありません。本当によくできているなと思いました。

講義内容は、総論「モニター心電図の ABC」から、各論 1「調律(リズム)」、各論 2「洞不全症候群と電動異常」、各論 3「異常興奮」、各論 4「補充収縮」、各論 5「波形の異常」、各論 6「心停止」へと続きます。内容を詳しく書く事はできませんが、心電図のことを全く知らない 50 歳すぎのオジさんでも午後 5 時には間違いなく、モニター心電図の仕組みを理解することができています。最後に受講証明書をいただいたときには少し誇らしい気分になることができました。

専ら調剤だけを行っていた時代の病院薬剤師は薬に関する知識を高めることだけに精進していれば良かったのですが、例えば病棟業務の中で処方設計や副作用モニタリング等の業務を行わなければならなくなった現在、検査データや心電図等の判読ができる技能が必要となってきています。薬剤師に幅広い技能が求められるようになった今、学習したい分野を得意とする他団体の主催する今回のようなセミナーの活用は必要不可欠となってくると思います。今回の初級コースは来年も実施されるそうです。是非、県病薬の会員の皆さんも参加してみてはいかがでしょうか。



広報委員会より

平成 27 年度　第 17 回　がん化学療法・緩和ケア研修会

平成 28 年 2 月 20（土）ボルファート富山において、平成 27 年度第 17 回がん化学療法・緩和ケア研修会を開催した。はじめに日本ケミファ株式会社より「ジェネリック抗がん剤関連製品」について情報提供が行われた後、特別講演が行われた。

特別講演 I「乳がん患者への看護支援 ―乳がん治療に伴う身体症状緩和―」
富山大学付属病院　看護部　乳がん看護認定看護師　倉田　典子　先生

乳がんは、日本人女性 12 人に 1 人で働き盛りの女性 30～64 歳でがん死亡率は第 1 位である。乳がん治療は長期にわたるため、患者さんががんとともに生きていく方法を考えていかなければならない。乳がんの発生増殖に関与するホルモンはエストロゲンであり、エストロゲンの生涯の分泌量が多いと乳がんのリスクは高くなる。乳がんの小葉で作られた乳汁が通る乳管において発生しやすく、管内でとどまる非浸潤がんとがん細胞が管外に飛び出した浸潤がんがあり、後者で命の危険性が高くなる。

乳がんの治療は、Stage と Subtype で決定され、診療ガイドラインを用いて科学的根拠に基づいた観点で推奨される標準的治療を行う。診断、治療、転移再発時とその段階に沿った乳がん患者の不安や恐怖を受け止め、患者の今後の生活を共に考えていく必要がある。①診断告知後のストレス反応に対する看護介入、②根治性と機能温存を考慮した手術療法で影響するボディイメージに対する患者へのマネジメント、③化学療法・内分泌療法に固有の副作用(脱毛、更年期様症状等）に対するセルフケア、等乳がん治療の各病期において患者が抱える特有の問題がある。医療チームで患者をサポートし、経過とケアに関して的確な情報提供を行うことで、患者との人間関係を構築し問題を解決し、ケアの質を高めることが重要である。乳がん治療において、薬剤師は薬物療法の専門家として医師への助言や看護師への指導などの連携や、安全な薬物療法の継続のための内服管理や副作用対策等個別的な対応を行うことで積極的に乳がん患者への支援に介入できることが示唆された。

特別講演 II「乳癌診療ガイドラインに基づいた乳がん薬物療法」
富山赤十字病院　第 3 外科部長　野崎　善成　先生

診療ガイドラインは、科学的根拠に基づいた標準治療の提供・普及のために必要であり、医療従事者同士の情報共有に活用されている。診療ガイドラインは必ずしも強制ではなく、個々の患者の持つ多様性を考慮に入れず過剰にガイドラインを適応しすぎるという問題もあると指摘されている。

乳がんは予後比較的良好であるが、10 年相対生存率は 80%であり、5 年以降も生存率で傾きが変わらない。これは晩期再発が起こりうるため、乳がん治療は非常に長期にわたることが分かっている。乳がん薬物療法は、初期治療と転移再発乳がんに対する治療を別々に考えることが重要である。初期治療は乳がんを治癒せしめ、生存期間を延長させることを目標とする。対して転移再発乳がん治療は延命と QOL の維持を目標とする。初期治療を考えるときに、治療効果予測因子であるホルモン受容体と HER2 タンパクの過剰発現を理解することが重要である。初期治療の適応の原則は、治療効果予測因子等で大まかに分類ができ、化学療法が先で内分泌療法が後というルールは存在するが、化学療法の適応を決定する明確な治療効果予測因子はない。初期治療における化学療法のレジメンは多いが、それらの強弱は術後補助化学療法の開発で再発抑制・予後延長効果の歴史を勉強すると理解できる。無治療に比べ、再発減少効果は上昇してきた。特に増殖活性の高い HER2 に対するハーセプチンを加えたことによりアンスラ・タキサンレジメン以上に 64%の再発減少効果を与えたことが報告されている。化学療法の有害事象において発熱性好中球減少症（FN）は、治療関連死のリスクを増加させ、予定用量の投与延期等で相対的治療強度の低下により予後への影響を及ぼすため、G-CSF 投与等で FN 予防を行うのは重要である。内分泌療法ではクリニカルクエスチョンを参考に、閉経前後での薬物療法の注意点等を推奨グレードに基づいた解説を学んだ。転移再発乳がんに対する薬物療法は、患者の個別性(腫瘍の生物学的特性、前治療など)を把握し、標準治療を理解したうえで患者の希望を尊重しつつ最善の治療を選択しなければならない。タキサンに対する S-1 の非劣性はあるものの、QOL 調査において毒性ファイルが異なるものの S-1 が優れていることや、HER2 陽性転移再発乳がんに対する抗 HER2 療法は新たな分子標的薬の登場で劇的に変化してきていることが報告された。使用可能な薬剤数の増加により乳がん患者の予後は改善しているため、患者が希望を持って治療を受けられるように治療チームが果たす役割は大きいと考えられる。

第 34 回 DI 研究会

平成 28 年 2 月 27 日（土）ボルファートとやまにおいて、第 34 回 DI 研究会が行われた。まず、テルモ株式会社より「抗がん剤曝露の実際と模擬体験」と題しホスピタルカンパニーー金沢支店　村井俊亮氏の解説のもとで実習が行われた。実際に注射器を使用し、発色剤を用いてミキシング時の薬液の飛散の状況などを体験したり、今後導入が期待される抗がん剤投与システム（ケモセーフ）の使用方法の説明が行われた。また、ケモセーフについては調製だけでなく点滴ルートの紹介もされ、投与時の曝露対策となることを学んだ。その後、特別講演が行われた。

特別講演「がん薬物療法における暴露対策合同ガイドラインの解説」
国立がん研究センター東病院　野村　久祥　氏

抗がん剤の身体への影響について概説されたあと、曝露対策の動向について話された。動向ついては、日本病院薬剤師会では調剤を中心とした対策だけだったが 2008 年曝露対策への言及が、初

めて行われた。日本看護協会では 2003 年に細胞毒性のある薬剤の安全管理について紹介、2004 年に抗がん剤の取り扱いについて言及している。今回、曝露対策ガイドライン作成にあたり、薬剤師は調整することがメインだったが、投与管理、排泄物、環境汚染等も含めた対策が必要で、すべての医療従事者が読めるガイドラインの作成となった。
ガイドラインでは、Hazardous Drugs（HD）の定義や HD の職業性曝露による健康への影響について紹介し、曝露予防対策をヒエアルキーコントロールの図で説明された。
また、JASPO の会員より寄せられたクリニカルクエスチョン（CQ）の掲載の経緯にについて話された。CQ の解説では、HD の職業性曝露による妊孕性への影響に対して配慮することが推奨されるか？などといった 8 つの項目について行われた。
今後の展望として全ての職種において教育体制重要であるが、曝露対策の教育に関して、薬剤師が中心となるべきであり、調製以外にも目を向けるべきである。また、医師、薬剤師、看護師以外の医療従事者や患者、家族への教育は未着手であり今後の大きな課題となる。曝露対策の推進のためには、診療報酬改定への働きかけを行っていく必要もある
おわりに、抗がん剤の職業性曝露対策は、各施設における組織的な取り組み、及びそれに基づく医療従事者の正しい理解と実践が重要であり、今回のガイドラインの刊行により施設管理者が率先して医療従事者の曝露対策に取り組むようになることを期待する。

第4回富山県病院薬剤師会感染制御研修会

富山県病院薬剤師会は、平成 28 年 3 月 5 日に第4回富山県病院薬剤師会感染制御研修会を開催した。まず MSD より情報提供が行われた。講演の概要は次のとおり

一般講演「富山県における ATC/DDD system を用いた多施設抗菌薬ｻｰﾍﾞｲﾗﾝｽの導入」
市立砺波総合病院 薬剤科 舘 美幸 先生

今回富山県における抗菌薬使用量調査の標準化、および継続的な抗菌薬使用量の使用動向の調査を目的としてレトロスペクティブ研究を実施した。
ペニシリン系 AUD は施設間で大きく異なり、今後はペニシリン系および狭域の抗菌薬も解析検討を行う必要がある。カルバペネム系 AUD は病床数が多く加算1の施設、また感染専門・認定薬剤師が在籍する施設では高く、MEPM が高用量で使用可能となったことや、感染専門・認定薬剤師が抗菌薬適正使用に関与した結果と考えられる。抗 MRSA 薬 AUD は病床数に伴い高くなり、高用量が必要な重症患者が多いと思われる。
今回 AUD の標準化を行うことで富山県内の抗菌薬使用状況の把握が可能となった。使用量の動向を見るには調査を継続する必要がある。また使用患者数の動向には DOT、抗菌薬全体の動向には内服薬の調査も必要。抗菌薬使用量と耐性菌の関連は今回検討していないが、検討することで抗菌薬適正使用に貢献したい。

特別講演「MRSA 感染症に対する薬剤の選択、使用について」
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 薬剤部 病棟薬剤科 科長 五十嵐 正博 先生

虎の門病院の抗菌薬ラウンドでは抗菌薬の適正使用の評価、TDM の適正さの評価や目標血中濃度等を決めている。病棟薬剤師が抗 MRSA 薬の投与設計を医師と協議し行い、コンサルトした内容はカルテ記載にて情報共有を行っている。
TDM 業務は病棟薬剤師全員が行い、技能に対しランク付けし上級者が下の人を教育する体制である。当直業務、病棟業務を始める段階に応じて計画的に職員の教育を行っている。また医師より培養検査に関しての講義を行っていただいた。
TDM においてベイジアン法では投与量を減量した後、さらに血中濃度が上がることがあるため、最初に予想より血中濃度が高く出た場合は単純補正だけでは補正が追い付かないので注意する。
透析患者の VCM はリバウンドがあり、また透析率は透析膜の種類、膜の面積、透析時間、除水量で変わるため、どの患者に対しても透析率を出し、除去分を補充することで TDM を行っている。
Cr が上昇しても、全身状態が悪いと脱水や出血性ショックの可能性もあるため、必ずしも腎障害と考えなくてよい。有効率も効果がないから増量、変更するのではなく、他の原因の場合もあるため医者と協議して診断する。患者個々で状態が異なるため、見極めるのが専門家の役目であり、医者と議論しながら投与設計を決めている。

第 416 回学術講演会

富山県病院薬剤師会（高畑英信会長・砺波総合病院）は“ボルファートとやま“において、第 416 回学術講演会をバイエル薬品（株）の共催のもと開催した。始めにバイエル薬品より「イグザレト錠」の最近の話題、イグザレルトは欧米人と日本人との人種差や臨床試験とリアルワルード（市販後）での違いを考慮したエビデンスを有すると説明。クレアチニンクリアランスに応じて用量設定する薬剤で腎機能、年齢、体重の要素も考慮している。さらに進行中の臨床研究、新規適応領域の可能性についても紹介。中川裕幸氏（バイエル薬品・ラジオロジー事業部）よる特別講演 I「CT-MRI 検査の基本について」では、CT 検査、MRI 検査の原理、特徴について説明。CT は短時間で検査ができ、撮影後の画像処理により任意の方向で画像を作ることが可能、3D 画像も可能、検査中の騒音も殆どなく、ペースメーカーや体内に埋め込み金属があっても検査が可能。短所として放射線被爆、造影と血管・管腔の描出ができない。MRI は、被爆はまったくなく、造影剤を使用せず、血管・管腔の描出が可能。コントラスト分解能にも優れているが短所として CT に比べて検査時間が長く、検査中の音が非常に大きい。またガントリーが狭いため閉所恐怖症の人は撮像困難、ペースメーカー等、体内金属が埋めこまれている場合、原則検査不可能。磁力は距離の二乗に反比例。造影剤を投与して検査を行うと、診断したい部分とその周り部分に明暗の差ができると述べ、病巣の位置、形、大きさ、性質が分かる。X 線造影剤の造影原理も解説。造影剤の開発の歴史について述べ、造影能を求めていた第1世代（モノ・ヨード、ジ・ヨード）は満足のいくレベルに到達していない。第 2 世代（トリヨード化合物）となり、造影能が完成、更なる安全性への課題が、第 3 世代（低浸透圧造影剤）となりイオン

性から非イオン性へ、安全性も向上。症例も紹介されたほか。画像診断ガイドライン等についても解説。イオン性造影剤の髄腔注入（偶発事故や誤投与）は死亡もしくは致死的な副作用を招くおそれあると警笛。ヨード造影剤の即時型副作用発現時期として約7割が注入中・注入後5分以内に発症。遅発型は、投与1時間後以降に発現。副作用の危険因子、問診のポイントは、アレルギー体質・疾患（喘息、蕁麻疹、花粉症、アトピー、薬剤・食物アレルギーなど有無）造影剤使用歴と副作用の有無、心疾患であると述べた。最後に造影剤による重篤な副作用を確実かつ安全に予知する方法はなく、リスクを考えた上での十分な適応を検討、患者への十分な説明（検査の必要性と危険性）、文書によるインフォームドコンセントの取得、副作用発現時には迅速かつ的確な対応が必要であると述べた。続いて山下昭雄氏（富山大学第一外科講師）から特別講演「『深部静脈血栓の臨床−抗凝固療法の重要性−』が行われた。深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症（VTE）は、下肢、骨盤または上肢の大静脈の血栓症である深部静脈血栓症（DVT）と、主に近位の下肢静脈の塞栓形成に起因する肺血管系内の血栓症である肺血栓塞栓症（PE）は一連の病態である。静脈血栓塞栓症（VTE）における死亡数は、欧州6ヶ国での致死的な肺塞栓症（PE）は毎年 12.6 万件発生。米国では、毎年 10 万〜20 万件の死亡例。わが国にでもPE 患者数は年々増加傾向にあり、DVT はPE を起こす可能性のある非常に怖い病気である。VTE の臨床像について解説。凝固線溶系は厳密に制御されているが、VTE の危険因子によりこの制御機構が破綻すると、血栓形成が過度に進行し、血栓性疾患が惹起される。静脈血栓症の誘発因子として①血流の停滞、②静脈壁の障害、③血液凝固能の亢進、の 3 徴が種々の程度に絡み合い血栓形成がなされる。凝固能の亢進因子には、脱水」、（手術）侵襲、ストレス、悪性腫瘍、癌由来凝固促進因子、ホルモン剤（ピルや女性ホルモン剤）、血栓性素因、プロテイン C、S 異常、AT−Ⅲ欠損、抗リン脂質抗体症候群等。血管内皮の障害は、血管損傷、化学刺激、加齢（内皮機能低下）・・。血液のうつ滞の要因として安静、臥床、静脈圧迫。深部静脈に血栓ができると静脈圧が上昇し、腫脹、熱感、疼痛（急性静脈うつ血）、血栓が遊離し肺塞栓となる。静脈弁が破壊すると静脈が逆流、慢性うつ血となる。典型的な症状として比較的急速に発症する片側下肢の腫脹を伴う疼痛が起こると述べ、静脈血栓形成の危険因子として高齢、脱水、高度肥満、悪性腫瘍、最近の整形外科手術、婦人科手術、経口避妊薬、血栓性素因および血栓症の既往、家族歴、意識障害、麻痺、長期臥床、心不全、重症感染症を挙げた。血清学的（補助）診断として D−ダイマー、画像診断はエコー、CT。急性期の治療の目的は肺塞栓症の予防、静脈還流を改善し、深部静脈血栓塞栓症を予防すること。抗凝固剤の投与は、凝固系を抑制し線溶系とのバランスを正常、早ければ早いほど効果的。早期から適切な抗凝固剤を選択し確実に投与することで重症の肺塞栓症の発症予防が可能。ワルファリンは効果発現まで 4.〜5 日掛かり急性期の治療には不適。また抗血小板剤は、静脈血栓には効果が期待できない。注射の Xa 阻害剤は効果も速い。低分子ヘパリンは深部静脈血栓の保険適用はない。急性期治療は、（入院）安静。安静により自覚症状が改善。体動により血栓遊離を予防に繋がる。安静臥床は DVT の発症リスクであるが、抗凝固剤が効いていれば運動制限は不要である。静脈機能も回復すると述べ、新規抗凝固薬（Novel Oral AntiCoagulants:NOAC）は国際血栓止血学会から「NOAC ではなく DOAC（ direct oral anticoagulants：DOACs)と呼ぼう）と言われている。ヘパリンと比較し効果は同等、投与が簡便、モニタリングが不要またワルファリンと比較し速やかに効果を発現、効果は同等、用量調整不要、モニタリング不要。欠点として中和薬がなく、効果を客観的に示す指標がない。また高価である点。ただし、

ワルファリンより、DOAC 服用中の方が、手術時の止血には難渋ケースもある。患者背景や経済的な問題もあり、すべて DOAC に切替えることはできない。用量調節に関しては、年齢、体重、腎機能を考慮。相互作用は余りないが抗真菌剤、マクロライド、プロテアーゼ阻害剤・・・を注意する。急性期はワルファリン、DOAC で維持。最近は早く服用中止すると再発する例も多数あり、手術等で血栓素因がなく凝固能が明らかな場合（健常）には半年から1年服用。それ以外、凝固能の除去できないもしく不明の場合には半永久的に継続。先天性素因、胆癌患者や加齢等の要因の場合、可能な限り継続するべきと考える。高齢の場合、コンプラアンスを考え、DOAC を推奨。維持量として推奨の最小量を使用している。深部静脈血栓症（DVT）の基本は抗凝固療法。従来の初期治療では注射剤から経口抗凝固薬に切り変えていたが、シングルドラッグアプローチでは、最初からDOACの単剤療法。初期～維持まで DOAC 単剤療法では入院期間も短い。各 DOAC の特徴も異なるが、リバーロキサバンやアピキサバンの 2 剤は、初期治療（強化療法）から再発抑制に使用可能である。エドキサバンは急性期にヘパリンを投与後の使用。ワルファリンは効果発現までに数日かかり、モニタリングを不要とするDOACの登場により、近年、海外でDVT患者の外来治療が増加しており、場合によっては外来治療も可能。DOAC による深部静脈血栓の最新の治療の考え方について解説された。

第 20 回富山県精神科薬剤師勉強会学術講演会

富山県病院薬剤師会は、平成 28 年 4 月 23 日（土）にボルファートとやまにおいて第 20 回富山県精神科薬剤師勉強会学術講演会を開催した。

はじめに、大塚製薬株式会社より「エビリファイの最近のトピックスについて」の情報提供がなされ、その後、一般講演と特別講演が行われた。講演の概要を以下に示す。

一般講演「富山県における向精神薬処方実態調査」

呉陽病院　薬局長　宮崎　卓也　先生

富山県における 2015 年の向精神薬処方の実態調査について講演いただいた。協力施設は 8 施設となっており、全症例は 665 症例で、患者背景として男性がやや多く、60 歳代が多い結果となった。クロルプロマジン換算（CP 換算）での平均投与量は富山県で 891.5mg と昨年より減少している。単剤化率が 36.5％で、多剤併用は 3 剤以上で CP 換算値が 1213mg 以上となるので、剤数を抑えるのが良いのではないかとの見解であった。単剤使用例のうち、94％が非定型抗精神病薬、6%が定型抗精神病薬を使用しており、非定型のうち 32％がオランザピン、20％がリスペリドン、18％がアリピプラゾールを使用している。抗パーキンソン薬であるビペリデン換算は 1.7mg であり、0 剤使用例が 51％、1 剤使用例が 39％であった。まとめとして患者の QOL を高めるため、CP 換算値を減らすようにしていきたいと話された。

特別講演 「副作用と身体合併症について」

医療法人社団松風会松岡病院　副院長　松岡　理　先生

向精神薬の副作用と精神科領域の身体合併症について講演いただいた。まず、抗精神病薬の薬効

や副作用についてでは、黒質−線条体のドパミン受容体を遮断するため錐体外路症状の副作用が起きること、抗コリン作用、抗ノルアドレナリン作用による副作用について話された。中脳辺縁系でのドパミン受容体遮断は薬効となり 漏斗−下垂体でのドパミン遮断にて高プロラクチンが起こる。ドパミン遮断作用を薬の受容体親和性にて使い分けることが、副作用減少、薬剤の剤数を減らすポイントとなる。

具体的な副作用としてのまとめとしてアドレナリンα、β遮断作用にて鎮静、起立性低血圧が起こり、D2遮断にて高プロラクチン、錐体外路症状（EPS）が起こり、抗コリン作用にてイレウス、便秘、霞目が起こり、H1遮断にて体重増加、耐糖能異常が起こる。

アカシジアは投与初期に起こりやすく、ジスキネジアは慢性期で難治性となりやすい。ジストニアは投与初期、若い男性に起こりやすく、対処としてクロナゼパム、ベンゾジアゼピンを投与する。ジスキネジアは持続的な不随意運動の症状があり、対処としてベンゾジアゼピン、β遮断薬を投与する。アカシジアはじっとしていられない、ムズムズ・そわそわといった症状にて副作用と神経症状との鑑別が難しい。さらに、起こりやすい副作用の症状を実際に動画で紹介いただいた。これらの副作用は急性期では抗パーキンソン病薬・抗コリン薬の投与、使用薬剤の減量でよくなることが多いが、慢性期に起こると抗パーキンソン病薬・抗コリン薬の投与、使用薬剤の減量で悪化することが多いため、慢性期で起こらないような処方の仕方が必要となる。QT 延長症候群といった心室頻拍による失神、痙攣は定期的な心電図にて検査をして事前に防ぐ必要がある。 悪性症候群は原因不明だがドパミンに作用する薬を始めた時、やめた時に起こりやすく、高熱、CRP 上昇といった症状が起こり、死亡例もある。対処として原因薬剤を中止する。抗うつ薬の副作用は眠気、だるさ、胃部不快感、吐き気が挙げられる。

抗うつ薬中断症状は半減期が短い薬などで起こりやすい。吐き気、めまいなどの症状が起こる。ゆっくり中止する、ベンゾジアゼピンをかませるといった対処がなされる。

アクチベーション・シンドロームは若年者、子供、使用初期、増量時に起こりやすく、中枢神経刺激にて起こる。セロトニン症候群はセロトニン作動薬にて起こり、死亡例の報告もある。錯乱、興奮、振戦が起こるので、悪性症候群との違いに注意が必要となる。

アメリカで抗コリン薬に抗うつ効果があるとの報告があり、スコポラミンは急性期には焦燥などへ抗不安作用が期待できる可能性がある。

副作用かもしれない症状としてNeuroleptics−induced deficit syndrome(NIDS)は抗精神病薬を長く服用している方に無関心、感情鈍麻などが起こる症状で、中枢神経物質の遮断によっておこるのではないかと言われている。過感受性精神症は遅発性ジスキネジアの症状、Interictal dysphoric disorder（IDD）はてんかんの精神症状、不快気分障害として知られ、発作はない。Antidepressant−associated chronic irritable dysphoria（ACID）は抗うつ薬を長期的に服用している方にみられ、慢性的にイライラしているが、服用をやめると緩徐に回復し、気分不安定化現象とも言われる。

最後に、副作用を副作用として認識できるかが重要となり、患者、主治医が起こっている症状を副作用として認め、原因薬剤を中止できることが大事である。そのためにも薬剤師は患者と主治医との橋渡しを出来るようにと締めくくられた。

役員会
議事録

平成27年度　第3回役員会議事録

日　時:平成28年2月5日(金)午後6時30分から午後8時20分
場　所:富山県民共生センター　サンフォルテ研修室　　305号室
出席者:高畑英信、高城正利、三村泰彦、北澤英徳、小出久仁子、高崎京子、松井順子、
河井良智、篠田健一、吉田英樹、堂川嘉久、脇田真之、梅津博之、有生明雄、
永井伸幸、守内　匡、村田麻巳子、浜手ひとみ　(順不同、敬称略)
委任状:足立伊佐雄、山下岳至、小堀　勝、岡村元晴、蛭谷一彦、本元浩和

(議事内容)
1　前回議事録確認(高畑)　　特に訂正なし
2　各委員会報告
【学術委員会】(吉田)
第415回　学術講演会　平成27年11月21日(土)実施　参加者37名
第416回　学術講演会　平成28年　3月12日(土)予定
第417回　学術講演会　平成28年　6月11日(土)または18日(土)調整中
〈フォーラム〉
第6回　富山県漢方調剤フォーラム　平成28年1月31日(日)実施
　　ツムラ　県薬剤師会共催
【感染制御研修委員会】(河井)
(1)研修会予定
平成28年2月13日(土)一般講演　富山労災病院　高橋先生
　　特別講演　国立成育医療センター　石川洋一先生
平成28年3月5日(土)一般講演　砺波総合病院　　舘先生
　　特別講演　虎の門病院　五十嵐正博先生
＊病院薬剤師就職説明会と同一日となってしまったが調整難しかった
28年度は未定
【がん化学療法・緩和ケア委員会】(北澤)
第17回　がん化学療法・緩和ケア研修会研修会　平成28年2月20日(土)予定
【広報委員会】(篠田)
平成28年1月30日　日本薬学会北陸支部幹事会に出席
【DI委員会】(高畑)
第34回　DI研究会　　平成28年　2月27日　予定
【会報委員会】(脇田)
会報の予算について　広告掲載会社が31社から28社になり減少傾向
7月の分は3月に前倒しで入金をお願いしたい

【総務】(堂川)
改定コアカリ対応タスクフォース養成WSの参加者について
(平成28年3月5日、6日　摂南大学)
朱亀先生の後任として検討。北陸中央病院　守内先生に依頼、了承。

3　平成27年度日本病院薬剤師会北陸ブロック会長・副会長会議の報告(高畑)
富山県出席者:高畑　北澤　高城　三村
各県病薬から提出された議題は資料あり。検討内容の報告。

4　第26回日本病院薬剤師北陸ブロック学術大会の報告(高畑)
参加人数241名(福井県27名　石川県98名　富山県116名)
・駐車場や駐車券について説明不足だった、今後検討必要。(三村)
・収支報告。資料あり(有生)
・同日開催された平成27年度日本病院薬剤師会北陸ブロック中小病院・療養病院連絡会議について報告(高城)　　会議次第、参加者名簿あり。

5　病院薬剤師就職説明会
　平成28年3月5日(土)　13時30分～16時　　12時30分集合
・パンフレットは県内病院、大学、ハローワークに配布
≪役割分担≫　設営は全員で
・病院案内の小冊子は済生会高岡病院　北澤さんに依頼。フォーマットは守ってほしいと。
・ドリンクコーナーはボルファートに依頼。
・総合司会:南砺市民病院　村田　　・アンケート:富山赤十字病院　蛭谷
・パネルディスカッション司会:高城
　パネリスト　県立中央病院、富山市民病院、高岡市民病院、済生会富山より一人ずつ
　自己紹介及び質問形式予定、15分間程。
・来場者にはたくさんのブースを回ってほしいので20分毎に時間のお知らせをする。

6　第67回通常総会の日程、及び役員選挙について
　日時:平成28年5月14日　　場所:パレブラン高志会館
　特別講演　:日病薬事務局より研修制度について説明。
　　城西大学　金本郁男先生
・役員選挙について　会長1名　監事2名　　選挙管理委員会に依頼
・第2回　学術功労賞　　感染部会より推薦あり。　砺波総合病院　舘先生に決定。

平成 27 年度　第 4 回役員会議事録

日時:平成 28 年 4 月 20 日(水)午後 6 時 30 分から午後 8 時 00 分

場所:富山県民共生センター　サンフォルテ研修室　305 号室
出席者:高畑英信、高城正利、北澤英徳、高崎京子、有生明雄、村田麻巳子、篠田健一、
永井伸幸、浜手ひとみ、梅津博之、守内匡、堂川嘉久、岡村元靖、山下岳至、
本元浩和、朱亀進司、脇田真之、吉田英樹(順不同、敬称略)
委任状:足立伊佐雄、三村泰彦、小出久仁子、蛭谷一彦、伊藤功治、小堀勝(順不同、敬称略)
(議事内容)
1. 前回議事録確認　特に訂正なし
2. 各委員会報告
【学術委員会】
第 416 回　学術講演会　平成 28 年　3 月 12 日(土)　実施　参加者 65 名
第 417 回　学術講演会　平成 28 年　6 月 11 日(土)　実施予定
第 418 回　学術講演会　平成 28 年　8 月 27 日(土)　実施予定
第 6 回　富山県薬剤師フォーラム　平成 28 年　1 月 31 日(日)実施　参加者 130 名
第 5 回　富山薬剤師フォーラム　　平成 28 年　7 月 21 日(日)　実施予定
第 7 回　富山県薬剤師フォーラム　平成 29 年　1 月 29 日(日)　実施予定
【感染制御研修委員会】
第 3 回　感染制御研修会　平成 28 年　2 月 13 日(土)　実施
第 4 回　感染制御研修会　平成 28 年　3 月　5 日(土)　実施
第 1 回　感染制御研修会　平成 28 年　6 月 25 日(土)　実施予定
第 2 回　感染制御研修会　平成 28 年　7 月 23 日(土)　実施予定
【DI 委員会】
第 33 回 DI 研究会　平成 27 年 5 月　9 日(土)実施
第 34 回 DI 研究会　平成 28 年 2 月 27 日(土)実施
3. 病院薬剤師就職説明会を終えて
　平成 28 年 3 月 5 日(土)13 時 30 分～16 時　ボルファートとやま2階ホールにて実施
　実施内容:1.特別講演「これからの病院薬剤師」高畑英信
　2.パネルディスカッション　6 年制薬学部卒業生 4 名による「就職の判断、そして今」
　座長　高城正敏
　3.個別面談　病院ごとにブースを設けて実施
　参加者:33 名(学生 32 名、復職希望者 1 名)、医療機関関係者 59 名
アンケート回収 27 名(大変役に立った、役に立ったとの回答 100%)
今後も病院薬剤師就職説明会は継続していく方針
会計報告:支出合計:414,076 円
(内訳:会場費:226,136 円、ポスター:79,920 円、パンフ:30,800 円、他)
4. 日病薬第 52 回臨時総会の報告
　平成 28 年 2 月 27 日開催、配布資料参照
5. 日病薬第 52 回通常総会の一般質問・要望事項
　配布資料参照

6. 災害時の登録派遣薬剤師

日病薬より、「災害医療支援のためのボランティア派遣薬剤師推薦のお願い」として、各県病薬に向けて、要請あり。希望者があれば登録名簿に記載して、日病薬事務局まで提出を。

7. 北陸調整機構のメンバー選出

富山県より 3 名選出：堂川嘉久（議決権あり、任期 2 年）、三村泰彦（サブ）、北澤英徳（オブザーバー）

8. 富山県病薬第 67 回通常総会の役割分担

日時　：平成 28 年 5 月 14 日（土） 14:00～

場所　：パレプラン高志会館　カルチャーホール

特別講演：「血糖管理は食事から　～365 日の低 GI 食～」講師：金本郁男先生

・役割分担：担当を決定

・総会会計報告・予算案について

平成 27 年度一般会計歳入歳出決算書を確認

平成 28 年度予算案については、後日送付するので確認を

・総会資料に関して、訂正があればメールにて事務局まで

・総会終了後、講師金本郁男先生を交えての懇親会を予定

9. その他

・役員交代

富山労災病院　新：伊藤功治　旧：河合良智

氷見市民病院　新：政氏藤玄　旧：小堀　勝

富山市民病院　新：朱亀浩司　旧：松井順子

・平成 28 年度がん薬物療法認定薬剤師、がん専門薬剤師海外派遣募集の公募について

応募は、日本病院薬剤師会まで　応募締切：平成 28 年 4 月 30 日必着

・第 56 回北陸信越薬剤師大会、第 49 回北陸信越薬剤師学術大会、第 18 回富山県薬学会の会の開催について、

平成 28 年 9 月 18 日（日）～19 日（月・祝）ホテルグランテラス富山

詳細は、富山県薬剤師会 HP 参照

平成 28 年度　第 1 回役員会議事録

日時：平成 28 年 6 月 9 日(木)　午後 6 時 30 分から午後 7 時 30 分

場所：富山県民共生センター　サンフォルテ研修室 305 号室

出席者：北澤英徳、小出久仁子、蛭谷一彦、本元浩和、脇田真之
高城正利、黒崎俊美、高崎京子、有生明雄、伊藤功治
永井伸幸、浜手ひとみ、篠田健一、岡村元靖、高畑英信、
堂川嘉久、朱亀進司、政氏藤玄、守内匡、村崎善之
吉田英樹、村田麻巳子

委任状：足立伊佐雄、梅津博之、山下岳至、高木昭佳
（順不同、敬称略）

（議事内容）

1. 前回議事録確認　特に訂正なし。

2. 新役員紹介

会報委員会より、各委員会の委員長より、今後の活動における豊富を提出していただく。

委員の選定･･･6 月中に病薬事務局へ連絡（例年通り割り当てる）

3. 各委員会報告

【学術委員会】

第 417 回　学術講演会　平成 28 年 6 月 11 日（土）

富山県済生会富山病院副院長　亀山　智樹先生

（内科　心筋梗塞について）

富山大学大学院医学薬学研究部脳神経外科学准教授　桑山　直也先生

（脳卒中　血管内治療について）

第 418 回　学術講演会　平成 28 年 8 月 27 日（土）　NST 関連

厚生連滑川病院　薬剤部　宮崎　徹先生

富山大学　消化器･腫瘍･総合外科　長田　拓也先生

第 419 回　学術講演会　平成 28 年 10 月 15 日（土）

富山県立中央病院　産婦人科　部長　谷村　悟先生（子宮内膜症）

富山大学附属病院　第三内科　峯村　正実先生（肝性脳症）

第 420 回　学術講演会　平成 28 年 11 月 19 日（土）

富山大学附属病院　整形外科診療准教授　下条　竜一先生（手術関連）

富山大学附属病院　整形外科　診療教授　川口　善治先生（慢性疼痛）

【フォーラム予定】

第 5 回　富山薬剤師フォーラム　平成 28 年 7 月 21 日（木）

富山大学附属病院　薬剤部　村崎　善之先生

（DMAT　熊本震災　支援報告）

富山大学医学部第二内科　教授　絹川　弘一郎先生（心不全関連）

第 7 回　富山県薬剤師フォーラム　平成 29 年 1 月 29 日（日）

漢方調剤フォーラム　　たてやまクリニック　周　海燕先生

富山大学ウイルス学　教授　　白木　公康先生

その他、高城先生より、

第 20 回富山県精神科薬剤師勉強会学術講演会

平成 28 年 4 月 23 日（土）　参加者　51 名

第 21 回は平成 28 年 11 月 12 日（土）　開催予定

篠田先生より

北陸ブロック学術大会　平成 28 年 11 月 27 日（日）北陸大学で開催

2018 年度第 138 回薬学会年会　石川県で開催予定　3 月 25～28 日

感染制御研修委員会より

6 月 25 日、7 月 23 日　研修会開催予定

DI 委員会より

今年度 2 回研究会を行う予定

認定実務実習指導薬剤師　更新講習会(カ)

7 月 16 日(富山)、10 月 23 日(石川)

4. 薬剤管理指導変更点について

平成 28 年度診療報酬改訂での主な変更点

「指導料を算定する日の間隔は6日以上」という記載が削除された。

5. 研修会の案内

「誰にでもよくわかる心電図」平成 28 年 7 月 10 日(日)

富山大学　高岡キャンパス

後援団体に追加登録　受講料　￥5,000 で参加可能。

6. 日本病院薬剤師会担当者について

中小病院　あさひ総合病院　梅津先生

診療所　北陸電力富山診療所　森田先生

療養　小矢部大家病院　宮本先生

精神科　谷野呉山病院　山本先生

ﾌﾟﾚｱﾎﾞｲﾄﾞ　DI 委員長　蛭谷先生

生涯研修　北陸中央病院　守内先生

広報　済生会富山病院　篠田先生



平成27・28年度病薬事業・会務報告

（2016. 3.1 ～ 2016. 6. 30 ）

3月 5日　第16回がん化学療法・緩和ケア研修会 （ボルファートとやま）
【情報提供】ブリストル・マイヤーズ株式会社 学術
【特別講演Ⅰ】『抗がん剤による末梢神経障害とその予防対策』
富山大学大学院医学薬学研究部 応用薬理学研究室 准教授 安東 嗣修 先生
【特別講演Ⅱ】『ウイルス性肝炎の最新治療と院内リスクマネージメントについて』
富山大学大学医学部 内科学第三講座 准教授 高原 照美 先生

3月12日　第417回 学術講演会 （ボルファートとやま）
【情報提供】 『イクザレルト錠』 バイエル薬品株式会社
【特別講演Ⅰ】『CT-MRI検査の基本について』バイエル薬品株式会社 ラジオロジー事業部
中日本エリア 学術担当 中川 裕幸 先生
【特別講演Ⅱ】『深部静脈血栓の臨床 -抗凝固療法の重要性-』
富山大学大学院医学薬学部研究部 第一外科 講師 山下 昭雄 先生

4月 7日　会報No.130 配布

4月20日　平成27年度第4回役員会

4月23日　第20回富山県精神科薬剤師勉強会学術講演会
【情報提供】「エビリファイの最近のトピックスについて」大塚製薬（株）学術応用開発 秋吉 恒
【一般講演】「富山県における向精神薬処方実態調査」呉陽病院 薬局長 宮崎 卓也 先生
【特別講演】「副作用と身体合併症について」
医療法人社団松風会松岡病院 副院長 松岡 理 先生

5月14日　第67回通常総会(高志会館)
会員へ報告 「日病薬研修制度の概要 会員の点数の集め方と認定の取得方法等」
日本病院薬剤師会 菅田和也
【特別講演】「血糖管理は食事から～365日の低GI食～」
城西大学薬学部医薬品安全性学 教授 金本郁男先生

6月 9日　平成28年度第一回役員会

6月11日　第417回 学術講演会 （ボルファートとやま）
【情報提供】『ヒト抗PCSK9モノクローナル抗体製剤 レパーサ皮下注シリンジ』
アステラス製薬株式会社
【特別講演Ⅰ】『心筋梗塞の診断と治療』 富山県済生会富山病院 副院長 亀山 智樹 先生
【特別講演Ⅱ】『脳梗塞に対する最新の血管内治療』
富山大学大学院 医学薬学研究部 脳神経外科学 准教授 桑山 直也 先生

6月25日　平成28年第1回 富山県病院薬剤師会 感染制御研修会
【情報提供】『 富士製薬工業 製品紹介 』 富士製薬工業株式会社
【一般講演】『 北陸中央病院における中心静脈カテーテル感染の状況について 』
公立学校共済組合北陸中央病院 守内 匡 先生
【特別講演】『 感染症でみられる画像、副作用で認められる画像等について 』
福井大学医学部付属病院 石田 智一 先生
【成果報告書作成】

会員の異動（2016.3～ 2016.6 ）

〔入会〕

	氏　名	施 設 名
平成28年3月7日	水野宏昭	高岡ふしき病院
平成28年4月8日	岡村吏華	射水市民病院
	譲原千広	南砺中央病院
平成28年4月12日	笹岡俊一郎	富山赤十字病院
	伊藤功治	富山労災病院
平成28年4月15日	田仲奈津美	高岡市民病院
	友原千絵子	高岡市民病院
平成28年4月18日	八代智江	砺波総合病院
	村岡美彩	砺波総合病院
	磯部忠良	国立病院機構富山病院
平成28年4月21日	桧物拓也	済生会富山病院
平成28年4月22日	小路裕子	野村病院
	八幡静香	厚生連高岡病院
	灘　美沙希	厚生連高岡病院
平成28年4月26日	佐々木英至	厚生連滑川病院
平成28年5月2日	伊東　潤	富山県立中央病院
	松本弘樹	富山県立中央病院
平成28年5月6日	橋本尚人	富山市民病院
	中村尚子	富山市民病院
平成28年5月13日	丸岡ひとみ	ふくの若葉病院
	大浦洋子	ふくの若葉病院

〔変更〕

変更日	氏　名	変　更　後	変　更　前
平成28年3月31日	成田綾香	高岡厚生センター	富山県高志学園
平成28年4月1日	穴田栄一郎	あさなぎ病院	高岡市民病院
平成28年4月6日	堀　順子	特別会員	高岡みなみ病院
平成28年4月8日	米山六郎	特別会員	射水市民病院
平成28年4月11日	松井順子	野村病院	富山市民病院
平成28年5月2日	山内良介	特別会員	チューリップ砺波

〔退　会〕

退　会　日	氏　名	施 設 名
平成28年3月7日	河郷　修	富山さくら病院
平成28年3月31日	朴木康雄	高岡ふしき病院
平成28年4月1日	宮川慶子	国立病院機構北陸病院
	永井和生	松岡病院
	佐伯敦子	富山城南温泉第二病院
平成28年4月12日	河井良智	富山労災病院
	中川さおり	富山赤十字病院
平成28年4月15日	敷　則和	富山県立中央病院
平成28年4月21日	寺田美穂	済生会富山病院
平成28年5月2日	近岡有貴	富山大学附属病院
平成28年5月6日	江尻真理子	富山市民病院
	宮田志生	富山市民病院
平成28年5月13日	住田優美	ふくの若葉病院

＊＊

他県の病薬会報受領一覧

2016. 3　～　2016. 6

＊＊

千葉県	千葉県病薬会報	第192号	2016.3
栃木県	栃木県病薬会誌	第103号	2016.3
大阪府	O.H.P.NEWS	Vol.58 No.3	2016.3
大阪府	O.H.P.NEWS	Vol.58 No.4	2016.4
大阪府	O.H.P.NEWS	Vol.58 No.5	2016.5
大阪府	O.H.P.NEWS	Vol.58 No.6	2016.6
京都府	京都薬報	3月号	2016.3
京都府	京都薬報	4月号	2016.4
京都府	京都薬報	5月号	2016.5
京都府	京都薬報	2月号	2016.2
秋田県	秋田県病薬	第40号	2016.4
広島県	広島県病院薬剤師会誌	Vol.51 No.1	2016.2
広島県	広島県病院薬剤師会誌	Vol.51 No.2	2016.5
広島県	DRUG INFORMATION NEWS	Vol.44 No.1	2016.2
広島県	DRUG INFORMATION NEWS	Vol.44 No.2	2016.5
福岡県	福岡県病院薬剤師会誌	No. 195	2016.5
高知県	高知県病院薬剤師会誌	No. 128	2016.3
熊本県	病薬にゅーす	Vol.48 No.3	2016.3
石川県	石川病薬ニュース	No.160	2016.3
東京都	東京都病院薬剤師会雑誌	Vol.65 No.2	2016.3
東京都	東京都病院薬剤師会雑誌	Vol.65 No.3	2016.5
鹿児島県	鹿児島県病院薬剤師会会誌	No.55	2016.5
愛媛県	愛媛県病薬会誌	第118号	2016.3
岩手県	病薬いわて	Vol.40 No.1	2016.3
神奈川県	神奈川県病院薬剤師会雑誌	第48巻1号	2016.3
愛知県	APJHP	Vol. 43 No.4	2016.3
三重県	会誌	Vol. 44 No.4	2016.4
三重県	DRUG INFORMATION NEWS	第29号	2016.4
群馬県	群馬県病院薬剤師会会誌	第45巻　4号	2016.3
茨城県	茨城県病院薬剤師会会誌	Vol. 57　No.1	2016.3
岡山県	岡山県病院薬剤師会報	第58号　第2号	2016.4
埼玉県	埼玉病薬	Vol. 23 No.2	2016.4
大分県	会報	Vol. 47　No.2	2016.2
北海道	北海道病院薬剤師会誌	No.90	2016.4
長崎県	長崎県病薬会誌	第105号	2016.5
兵庫県	会報	No.148	2016.5
福井県	会報	No.91	2016.3
鳥取県	病薬とっとり	第80号	2016.3
新潟県	会誌	NO.125	2016.3
奈良県	奈良県病院薬剤師会会誌	No.47	2016.2
青森県	青森県病薬会誌	No.68	2016.1
佐賀県	佐賀県病院薬剤師会誌	Vol. 43　No.2	2015.12
宮城県	宮城県病薬ニュース	No.87	2015.12
和歌山県	和歌山県病院薬剤師会会誌	第24号	2015



Lixiana®
edoxaban tablets

経口FXa阻害剤

薬価基準収載

リクシアナ®錠 15mg 30mg 60mg

一般名：エドキサバントシル酸塩水和物

処方箋医薬品　注意－医師等の処方箋により使用すること

※効能・効果、用法・用量および警告・禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

2015年4月作成

県 外 病 薬 誌 一 覧

事 務 局

第 68 回目の県外病薬誌のコンテンツをお届けします。
記事の全文をお読みになりたい方は、下記請求先まで病薬会誌名、巻・号・年、タイトル・ページ数を FAX あるいは電話でご連絡ください。追ってコピーを送付いたします。

請求先　富山市丸の内1丁目8－15
富山県病院薬剤師会事務局
FAX 076－433－8806
電話 076－433－8806

O.H.P.NEWS（大阪府） Vol.58 No.3

タ イ ト ル	頁
〔新薬の顔〕 トラベクテジン	5
〔病棟活動報告〕 友愛会病院におけるチーム医療	15

O.H.P.NEWS（大阪府） Vol.58 No.4

タ イ ト ル	頁
〔新薬の顔〕 ヤケヒョウヒダニエキス原末　コナヒョウヒダニエキス原末	5
〔病棟活動報告〕 友愛会病院における持参薬管理以外の病棟薬剤師業務	11

O.H.P.NEWS（大阪府） Vol.58 No.5

タ イ ト ル	頁
〔新薬の顔〕 チオトロピウム臭化物水和物/　オロダテロール塩酸塩	5
〔病棟活動報告〕 仁泉会病院の配薬業務	12

O.H.P.NEWS（大阪府） Vol.58 No.6

タ イ ト ル	頁
〔病棟活動報告〕 仁泉会病院の持参薬管理業務	5

DRAGINFORMATION NEWS(広島県) Vol.44 No.1

タ イ ト ル	頁
〔質疑応答 〕	
GLP-1 受容体作動薬について	1
急性アカシジアについて	4
骨代謝マーカーについて	8
社交不安症(Social Anxiety Disorder)について	15
突発性肺線維症に用いる新規分子標的薬ニンテダニブ(オフェブカプセル)について	19

わが国における難病対策について	24
非閉塞性腸管虚血症について	31
免疫チェックポイント阻害薬について―ニボルマブを例にして―	33

DRAGINFORMATION NEWS(広島県) Vol.44 No.2

タ イ ト ル	頁
〔質疑応答 〕	
ALK 阻害薬について	1
女性ホルモン製剤と血栓症	4
低ナトリウム血症について	8
妊婦の静脈血栓塞栓症について	13

広島県病院薬剤師会誌 Vol.51 No.1

タ イ ト ル	頁
〔会員報告〕	
HIV 感染症患者に対する薬薬連携の取り組み	3
テイコプラニンの院内推奨ローディングドーズ設定による目標トラフ値達成状況	9

福岡県病院薬剤師会会誌 No.193

タ イ ト ル	頁
質疑応答シリーズ	
免疫調節薬(IMiDs)について教えて	15

病薬いわて Vol40, No.1

タ イ ト ル	頁
調査・研究 ドセタキセル投与による浮腫発現に対する血清アルブミン値の影響	5
小学生における薬剤師体験学習実施について	9
岩手県薬剤師の自殺対策緊急強化事業	12

長崎県病薬会誌 第 104 号

タ イ ト ル	頁
こちら薬品情報室	
プロトンポンプインヒビターの最近の話題について	53

神奈川県病院薬剤師会雑誌 第48巻 1号

タ イ ト ル	頁
DIの頁 月経困難症に適応がある低用量エストロゲン・プロゲステロン配合剤の特徴について	16
タペンタドールは他のオピオイドとどのように違うのですか	16

石川病薬ニュース NO.160

タ イ ト ル	頁
〔薬局の窓口から〕	
外来化学療法室における薬薬連携の取り組み ―血清クレアチニン値の共有から―	18

愛知県病院薬剤師会雑誌 Vol. 43 No. 4

タ イ ト ル	頁
[特別寄稿] がん化学療法後の B 型肝炎ウィルス再活性化への対策	2
[連 載]	
地区薬剤師会との院外処方箋に関する確認書締結は保険薬局による残薬調製を増加させる	4

東京都病院薬剤師会雑誌 Vol. 65 No. 2

タ イ ト ル	頁
[総説] トランスポーターと生活習慣病	5
[そこが知りたい医薬品情報]	
「チック」からの解放～針刺時における小児期からの疼痛緩和～	11
劇症型溶血性レンサ球菌ム感染症	12

東京都病院薬剤師会雑誌 Vol. 61 No. 3

タ イ ト ル	頁
[総説] 腫瘍崩壊症候群ー現状と今後の展望ー	5
[そこが知りたい医薬品情報]	
倫理指針に基づいたモニタリング・監査の実施について	11
抗精神病棟の持続性注射製剤について	12

会報 （兵庫県） No. 148

タ イ ト ル	頁
[医薬品情報活動]	
悪性黒色腫に対してベムラフェニブを投与した一例	1
卵巣癌の腹膜播種による腹水症に対し KM-CART を行った一例	2
化学療法後に下肢動脈血栓を呈した一例	3
潰瘍性大腸炎の治療に青黛(セイタイ)とステロイドを投与した1症例	4
悪性黒色腫に対し、イピリムマブが投与された1例	5
医薬品情報室における情報収集の方法に関する検討	6
ニフレック服用にてアナフィラキシーショックを発現した1例	7
乳頭含有静注用ステロイド製剤によりアレルギーを発症した症例について	8
当院における C 型肝炎治療薬の取り扱いについて	9
生後36日の小児に Vancomycin を投与した一例	10
当社からの麻薬の納品について	11
当院における病棟業務の取り組みと評価 ～薬剤師による配薬業務を中心に～	12
医療安全を意識した外来での薬剤師業務の展開	13

病薬にゅーす （熊本県） Vol.48 No.3

タ イ ト ル	頁
調査・研究 新たな精神科薬物治療のエビデンス創出に向けて多飲症への薬物治療研究	10
DRAGINFORMATION	
注射用抗がん剤の溶解・希釈時における注意点	16

新局面を迎えたてんかんの薬物療法	26

北海道病院薬剤師会雑誌　No. 90

タ　イ　ト　ル	頁
[会員研究発表]	
耐性乳酸菌による抗菌薬関連下痢症の予防効果	17
外科病棟専任薬剤師の ERAS への関わり	21
療養型病院における薬剤管理指導の意義　一処方提案から適切な薬物療法ー	25
バイコマイシン投与量設定に対する薬剤師介入の有用性についての検討	29
睡眠薬服用と転倒・転落イベントの関連性についての検討	33
救命救急センターにおける病棟薬剤業務の評価と課題	37

福井県病薬会報　91

タ　イ　ト　ル	頁
〔DI 実例紹介〕	
10日前よりプレドニン 25ng/day 投与、今週白内障の手術予定、手術に対してステロイドの影響は	16
イソバイドシロップの原液が飲みにくいので飲みやすくする方法は	16
過去5年以内にニューモバックス接種歴の患者が、プレベナーの摂取希望。 この場合5年間間隔をあけないと接種できないのか?	17
経口摂取が不可の患者にドバストン静注を使用したいが、ネオドバストン配合錠との換算について	17

会報 （大分県） Vol.47 No.2

タ　イ　ト　ル	頁
[学術投稿]	
抗がん剤副作用モニタリングシートを用いた薬薬連携の推進	4



（写真提供　富山逓信病院　堂川嘉久）

編集後記

最近、天皇陛下が、生前に天皇の位を皇太子に譲る意向を示していたことが報道され、大きな話題となっています。今上天皇は 82 歳とご高齢なうえ、過去に前立腺がんや心臓のバイパス手術などの病歴もあり、多くの公務を務めなければならない状態が大きな負担になっており、皇太子殿下も 56 歳と、今上天皇が即位した時の年齢を超えていらっしゃる。そうした中で天皇陛下は天皇の位を生前に皇太子さまに譲る「生前退位」の意向を宮内庁の関係者に示していたのだということのようです。色々、法律的な問題もあるようですが、世論の大半は「生前退位」に肯定的であり、もしかしたら近い将来実現するのかもしれません。そうなれば当然現在の「平成」という元号も変わることになるのでしょうか。「平成」は「天地にも、国の内外にも平和が達成される」という意味のようですが、医療制度の変化は目まぐるしく、われわれ病院薬剤師にとってはまだまだ激動の時代が続くようです。薬薬連携やチーム医療をさらに進展させ、新しい時代に向け病院薬剤師の存在感を示していけたらいいなと思う今日この頃です。

病薬会報は皆さんの寄稿で成り立っています。ますます活発な投稿を宜しくお願いいたします。

（M.W.）

☆☆☆